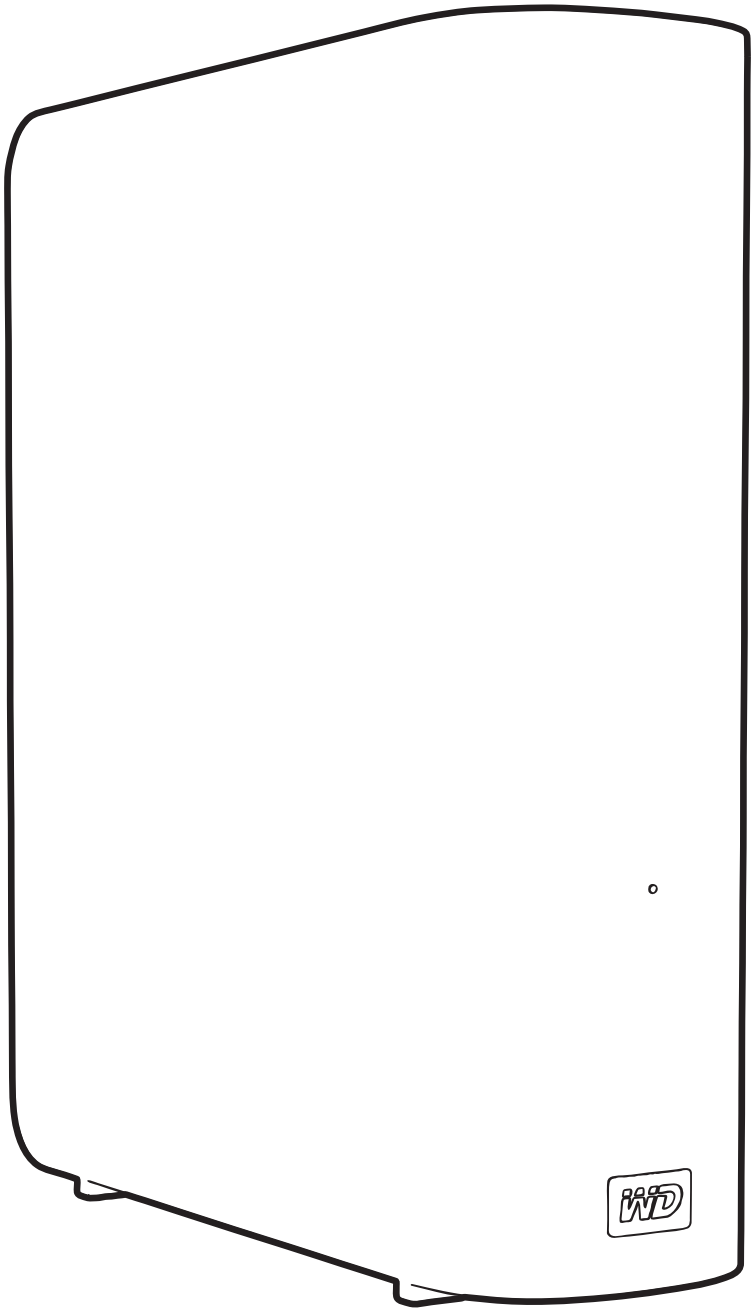
外付けデスクトップ

My Book®
Essential™
ユーザーマニュアル



Western Digital®

WD サービスとサポート

万一問題に遭遇した場合は、弊社が対処しますので、その前に返品しないようにしてください。ほとんどのテクニカル サポートの質問は、*support.wdc.com* のナレッジ ベースか電子メール サポート サービスでお答えすることができます。答えが見つからない場合は、下記の電話番号で WD® にお問い合わせください。

お客様の製品には、保証期間中、30 日の無料の電話サポートが含まれています。この 30 日間は、WD テクニカル サポートに最初にお電話された日付から始まります。電子メールサポートは全保証期間中無料です。また、弊社の広範囲におよぶナレッジ ベースは年中無休でご利用いただけます。お客様にいつも新しい機能とサービスを提供できるよう、*http://register.wdc.com* でオンライン製品登録をすることを忘れないでください。

オンラインサポートへのアクセス

弊社の製品ウェブサイト *support.wdc.com* で、下記のトピックの中から選択してください。

- **ダウンロード** – お使いの WD 製品のドライバ、ソフトウェア、およびアップデートをダウンロードします。
- **登録** – 最新のアップデートおよび特別な提供を入手されるためにお使いの WD 製品を登録してください。
- **保証および RMA サービス** – 保証、製品交換 (RMA)、RMA ステータス、および日付取得情報を獲得します。
- **ナレッジベース** – キーワード、フレーズ、または Answer ID で検索します。
- **インストール** – WD 製品やソフトウェアのオンライン インストール ヘルプを提供します。

WD テクニカル サポートの連絡先

サポートのために WD へ連絡いただく際は、WD 製品シリアル番号、システムハードウェア、およびシステムソフトウェアバージョンをご用意ください。

北米		**アジア太平洋**	
英語	800.ASK.4WDC (800.275.4932)	オーストラリア	1 800 42 9861
		中国	800 820 6682/+65 62430496
スペイン	800.832.4778	香港	+800 6008 6008
		インド	1 800 11 9393 (MNTL)/1 800 200 5789 (Reliance) 011 26384700 (Pilot Line)
ヨーロッパ（通信料無料）*	00800 ASK4 WDEU (00800 27549338)	インドネシア	+803 852 9439
		日本	00 531 650442
		韓国	02 703 6550
ヨーロッパ	+31 880062100	マレーシア	+800 6008 6008/1 800 88 1908/+65 62430496
中東	+31 880062100	フィリピン	1 800 1441 0159
アフリカ	+31 880062100	シンガポール	+800 6008 6008/+800 608 6008/+65 62430496
		台湾	+800 6008 6008/+65 62430496

* 通信料無料番号は以下の国で利用可能です。オーストリア、ベルギー、デンマーク、フランス、ドイツ、アイルランド、イタリア、オランダ、ノルウェー、スペイン、スエーデン、スイス、英国。

目次

WD サービスとサポート ii
オンラインサポートへのアクセス ii
WD テクニカル サポートの連絡先 ii

1 WD ドライブについて 1

特徴 1
キットの内容 2
オプションのアクセサリ 3
オペレーティング システムの互換性 3
ディスク ドライブ フォーマット 3
各部の名称と説明 3
電源 / 動作状況 LED 4
電源ボタン 5
USB 3.0 インターフェイス 5
Kensington® セキュリティ スロット 5
ドライブの登録 5
取り扱い上の注意 5

2 ドライブの接続と使用開始 6

ドライブの接続 6
WD SmartWare ソフトウェアを使い始める 9
WD SmartWare 概要 13
WD SmartWare ホーム画面 13
ドライブ管理のホーム画面 14
情報 / オンライン ヘルプ トピックの表示 15
WD SmartWare ソフトウェアなしで使用開始 15

3 コンピュータ ファイルのバックアップ 17

コンピュータ ファイルのバックアップについて 17
すべてバックアップ 19
高度なバックアップ機能 20
バックアップするファイルを選択 20
バックアップ ソフトウェアの設定の変更 21

4 バックアップされたファイルの取得 24

ファイルの取得について 24
ファイルの取得 24
フォルダの取得 27
ファイルまたは削除されたファイルの古いバージョンを取得する 27
ファイルをすべて取得する 27

5 ドライブのロックとロック解除 28

ドライブのパスワード保護 28
ドライブのロック解除 29
WD SmartWare ソフトウェアを使ってドライブのロックを解除する 30
WD SmartWare ソフトウェアを使わずにドライブのロックを解除する 31
パスワードの変更 31
ドライブ ロック機能を無効にする 32

6 ドライブの管理とカスタマイズ 33

WD SmartWare アイコンを使用する 33
WD SmartWare ソフトウェアを開く 33
ドライブ ステータスをチェックする 33
アイコン アラートの監視 34
ドライブを安全に取り外す 34
WD SmartWare アイコンを使用する 34
ドライブ電源ボタンを使用する 34
ソフトウェア設定のカスタマイズ 35
別の取得フォルダを指定する 35
環境設定オプションの設定 36
ドライブの設定のカスタマイズ 36
ドライブの登録 38
ドライブのスリープ タイマーの設定 38
ドライブの消去 39
バックアップと取得の機能を有効にする 41
WD SmartWare ソフトウェアのアンインストール 41
Windows XP でアンインストール. 42
Windows Vista または Windows 7 でアンインストール 42
WD SmartWare ソフトウェアとディスク イメージの復元 42

7 ドライブの健康状態のチェック 43

8 Mac でドライブを使用する 45

ドライブの再フォーマット 45
WD SmartWare ソフトウェアとディスク イメージの復元. 45
ドライブの接続と使用開始 46
WD +TURBO によるパフォーマンスの強化 47
WD SmartWare ソフトウェアのインストール 48
WD SmartWare ホーム画面 50
WD SmartWare アイコンを使用する 51
WD SmartWare ソフトウェアを開く 51
ドライブ ステータスをチェックする 52
安全にドライブのマウントを解除する 53
WD SmartWare アイコンを使用する 53
My Book アイコンを使用する 54
ドライブ電源ボタンを使用する 54

ドライブのロック解除 54
WD SmartWare ソフトウェアを使ってドライブのロックを解除する 55
WD SmartWare ソフトウェアを使わずにドライブのロックを解除する 56
WD SmartWare ソフトウェアのアンインストール 57

9 トラブルシューティング 58

ドライブのインストール、パーティション作成、およびフォーマット 58
よくある質問 (FAQ) 58

A SES ドライバのインストール. 60

Windows XP コンピュータにインストールする 60
ドライバを自動的にインストール 60
ドライバを手動でインストール 62
Windows Vista コンピュータにインストールする 63
ドライバを自動的にインストール 64
ドライバを手動でインストール 65
Windows 7 コンピュータにインストールする 67

B 順守および保証情報 69

規制順守 69
FCC クラス B 情報 69
ICES/NMB-003 順守 69
安全準拠 69
ヨーロッパに於ける CE の順守. 69
GS マーク（ドイツのみ） 69
KCC 告知（韓国のみ）. 70
環境基準の順守（中国） 70
保証情報 70
サービスを受けるには 70
限定保証 71

索引 72

1 WD ドライブについて

My Book® Essential 外付けハード ドライブへようこそ。本製品はお客様のデジタル ライフのあらゆるシーンでお役に立てる、洗練された高容量ストレージ ソリューションです。この最新エディションは、ビジュアルで使いやすい自動連続バックアップ ソフトウェアとドライブ ロック セキュリティ保護を特徴としています。

WD のベストセラー、My Book Essential USB 外付けハード ドライブは、データを自動的かつ連続的にバックアップする WD SmartWare ソフトウェアを特徴としており、問題が発生するとバックアップを表示し、破損ファイルを容易に取得します。

この章では以下のトピックを取り上げます。

特徴
キットの内容
オプションのアクセサリ
オペレーティング システムの互換性
ディスク ドライブ フォーマット
各部の名称と説明
ドライブの登録
取り扱い上の注意

特徴

My Book Essential ドライブの主な特徴は以下のとおりです。

コンパクトでスマートな無駄のないスリムなデザイン – これらの受賞したドライブをさらにコンパクトでスマートな洗練されたデザインに仕上げました。これまでと同様に、このブック型の形状はデスクのスペースを取らないため、My Book ドライブを 2 台以上置いても、棚の上の本のようにきちんと整理できます。

WD SmartWare™ ソフトウェア – 以下の機能を実現する使いやすいバックアップ ソリューション。

- データを自動的に保護 – ご安心を。データはしっかり守られます。自動連続バックアップにより、ファイルを追加あるいは変更した瞬間に 2 次コピーが作成されます。
- 問題が発生するとバックアップを表示します – 百聞は一見にしかず。ビジュアルバックアップにより、内容をカテゴリに整理して表示し、バックアップの進捗を示します。
- 破損ファイルを容易に取得 – すべてのデータを失っても、ファイルを削除しても、あるいは重要なファイルを上書きしてしまった場合でも、貴重なデータを元の場所に取得します。
- 管理 – バックアップのカスタマイズ、ドライブ セキュリティの設定、診断の実行、電源設定、および WD SmartWare コントロール センターによるその他の管理。
- ドライブ ロック – パスワード保護と 256 ビットのハードウェアベースの暗号化によってデータが不正アクセスや盗難から保護されているという安心感が得られます。

USB 3.0 インターフェイス – 複数のコンピュータ間で便利な互換性を提供するシンプルな接続。

パワー マイザー – My Book 外付けドライブは省エネ設計となっています。WD GreenPower Technology™ は、内蔵ドライブの電力消費を最大 30% 減少し、スリープ モードによってアイドル中の電力を下げ、省電力機能によりドライブをコンピュータと共にオン、オフします。

環境にやさしい – 廃棄物を最小限に抑えるために再生材を使って小型のボックスを設計しました。リサイクルを推進します。

Windows 搭載の PC でそのまま使えます – すべての Windows オペレーティング システムと互換性のある NTFS フォーマット済み。

複数デバイスのサポート – 1 つのソフトウェアのインストールで、最大 3 つの WD ドライブがサポートされます（WD SmartWare ソフトウェアを搭載した My Book または My Passport ドライブ）。

重要: 最新の WD 製品情報とニュースについては、弊社のウェブサイト *www.westerndigital.com* をご覧ください。最新のソフトウェア、ファームウェア、および製品ドキュメントと情報については、*http://products.wdc.com/updates* を参照してください。

キットの内容

図 1 に示すように、My Book Essential ディスクドライブ キットには以下が含まれています。

- My Book Essential 外付けハードドライブ
- WD SmartWare ソフトウェア（ドライブに付属）
- USB ケーブル
- AC アダプタ
- クイックインストールガイド

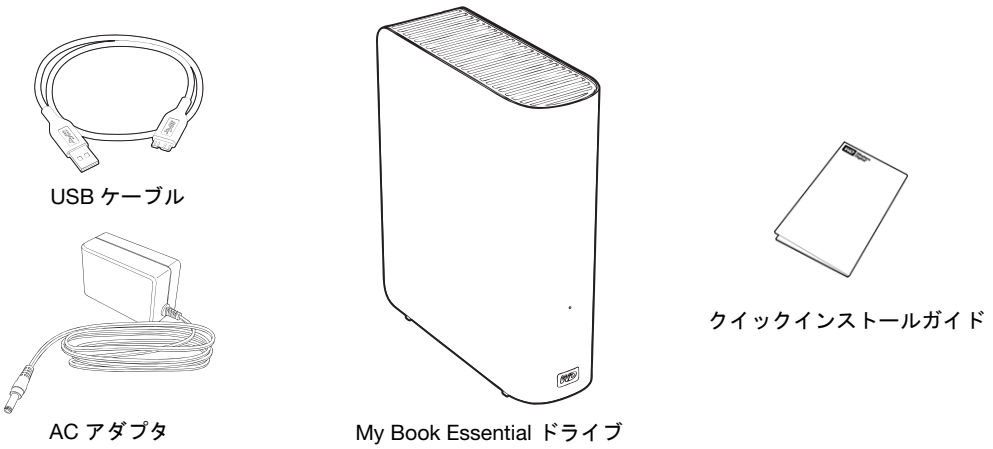


図 1. My Book ドライブ キット コンポーネント

オプションのアクセサリ

本製品のオプション アクセサリについての詳細は、以下をご覧ください。

米国	*www.shopwd.com* または *www.wdstore.com*
カナダ	*www.shopwd.ca* または *www.wdstore.ca*
ヨーロッパ	*www.shopwd.eu* または *www.wdstore.eu*
その他の国	各地域の WD テクニカル サポートにお問い合わせください。テクニカル サポートの連絡先のリストは、*support.wdc.com* のナレッジベース Answer ID 1048 を参照してください。

オペレーティング システムの互換性

My Book Essential ドライブと WD SmartWare ソフトウェアは、次のオペレーティング システムと互換性があります。

Windows®

- Windows XP
- Windows Vista®
- Windows 7

Mac® OS X®

- Leopard®
- Snow Leopard™

互換性は、ハードウェア構成とオペレーティング システムによって異なる可能性があります。

最高のパフォーマンスと信頼性を得るには、必ず最新のアップデートおよびサービス パック (SP) をインストールしてください。Windows コンピュータをご使用の方は **[スタート]** メニューに進み、**[Windows Update]** を選択してください。Mac コンピュータをご使用の方は、**[Apple]** メニューに進み **[Software Update]** を選択してください。

ディスク ドライブ フォーマット

My Book Essential ドライブは、すべての更新済み Windows オペレーティング システムとの互換性のために、単一の NTFS パーティションとしてあらかじめフォーマットされています。このドライブを Mac コンピュータで使用される場合は、45 ページの「ドライブの再フォーマット」と 58 ページの「トラブルシューティング」を参照してください。

各部の名称と説明

4 ページの図 2 および図 3 に示すように、My Book Essential ドライブには以下が含まれています。

- 前面の電源 / 動作状況インジケータ
- 背面の電源コネクタとボタン、インターフェイス ポート、セキュリティ スロット

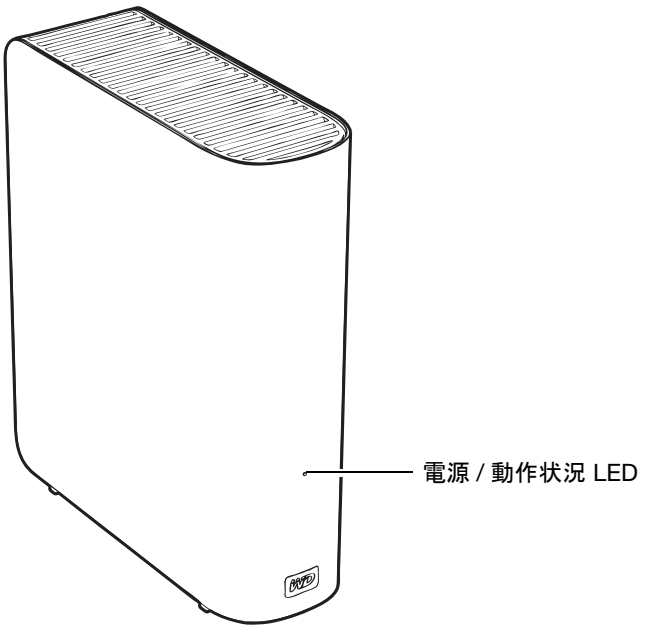


図 2. My Book Essential ドライブの正面

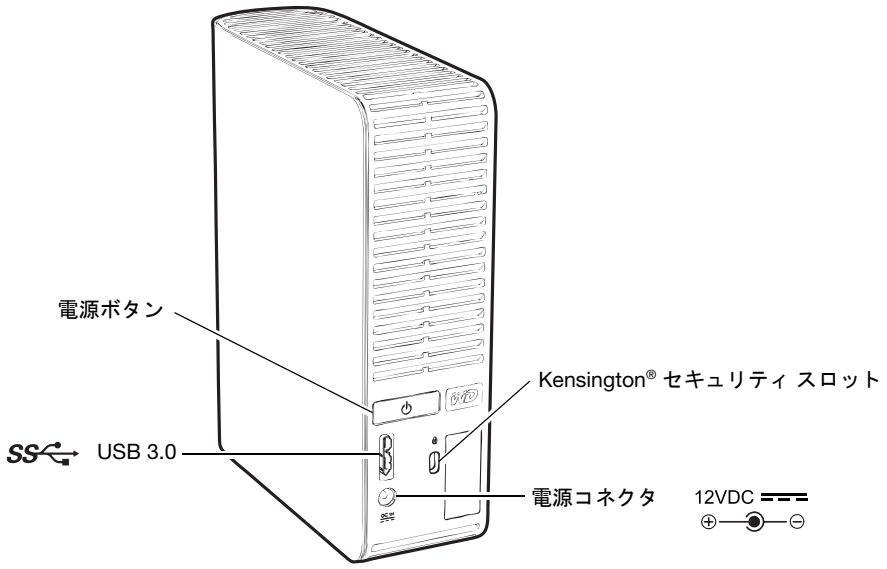


図 3. My Book Essential ドライブの背面

電源 / 動作状況 LED

次のように、電源 / 動作状況 LED は、ドライブの電源の状態と動作状況を示します。

LED 表示	電源の状態 / 動作状況
常時点灯	アイドル
高速点滅（1 秒に約 3 回）	動作
ゆっくりと点滅（約 2.5 秒おき）	システム スタンバイ

電源ボタン

電源ボタンを使用して安全にドライブの電源を切り、データ損失やドライブへの損傷を防ぎます。電源ボタンが機能するのは、WD SmartWare ソフトウェアがコンピュータにインストールされている場合のみです。

注： 電源ボタンを使用してオフにした後でドライブを切断すると、実行中のコンピュータに再接続したとき、ドライブは自動的に電源投入されます。電源ボタンを使用してドライブの電源をオフにした後、ドライブがそのままコンピュータに接続されている場合は、電源ボタンを再度押してオンにする必要があります。

USB 3.0 インターフェイス

超高速 USB 3.0 は最高 5 Gb/秒 のデータ転送レートをサポートします。USB 3.0 は USB 2.0、および USB 1.1 と下位互換性があります。ポート速度での USB 2.0、または USB 1.1 ポート転送データへの接続：

- USB 2.0 – 最大 480 Mb/ 秒
- USB 1.1 – 最大 12 Mb/ 秒

Kensington® セキュリティ スロット

ドライブ セキュリティ用に、Kensington セキュリティ スロットには標準 Kensington セキュリティ ケーブル（別売り）を使用できます。Kensington セキュリティ スロットおよび製品の詳細については、*www.kensington.com* をご覧ください。

ドライブの登録

お客様の My Book Essential ドライブを登録して最新のアップデートおよび特価提供を受けてください。38 ページの「ドライブの登録」の説明に従って、WD SmartWare ソフトウェアを使用して、簡単にドライブを登録することができます。*register.wdc.com* からオンラインで登録することもできます。

取り扱い上の注意

WD 製品は精密機械なので、開梱時およびインストールの際は丁寧にお取り扱いください。乱暴な取り扱い、ショックあるいは振動を与えると、ドライブが損傷することがあります。外付けストレージ製品の開梱やインストールの際には、次の注意事項を守ってください。

- ドライブを落としたり、衝撃を与えたりしないでください。
- 稼働中にドライブを動かさないでください。
- 本製品をポータブル ドライブとして使用しないでください。
- 十分な通気を確保するために、ドライブのケースの通気孔を塞がないでください。

2 ドライブの接続と使用開始

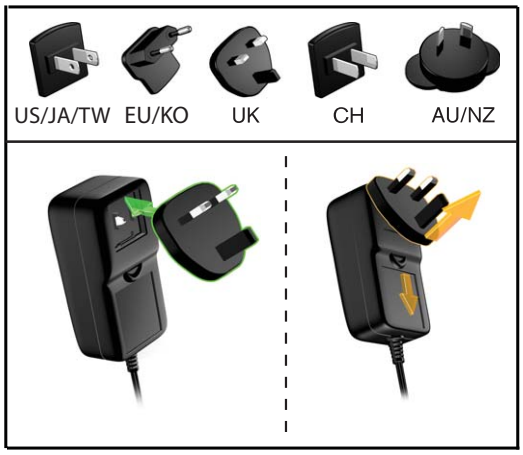
この章では、ドライブをコンピュータに接続し、WD SmartWare ソフトウェアをインストールする方法について、説明します。以下のトピックについて取り上げています。

ドライブの接続
WD SmartWare ソフトウェアを使い始める
WD SmartWare ソフトウェアなしで使用開始

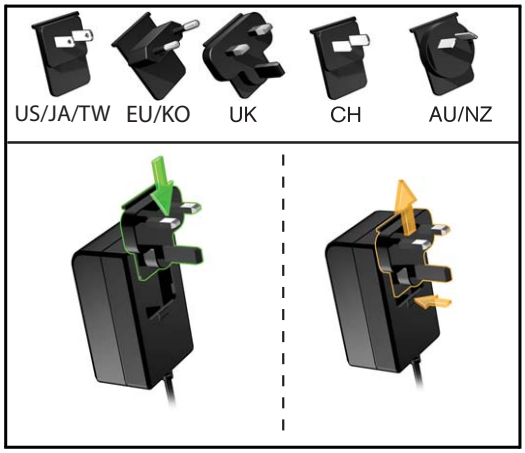
ドライブの接続

My Book ドライブを Windows コンピュータに接続するには、以下の手順を実行します。

1. 地域によっては、必要な場合、次のように電源アダプタを変更します。



取り付け　取り外し



取り付け　取り外し

2. コンピュータの電源を入れます。
3. 図 4 に示すように My Book ドライブを接続します。

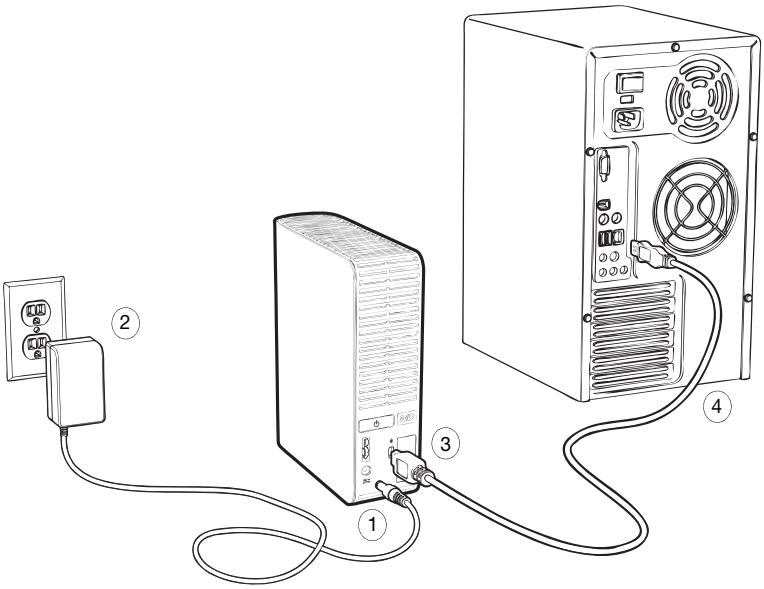


図 4. My Book ドライブの接続

注： Mac コンピュータで使うようにドライブを再フォーマットしてある場合は、この手順をスキップし、代わりに 46 ページの「ドライブの接続と使用開始」を参照してください。

4. 新しい My Book ドライブが Windows エクスプローラの [マイ コンピュータ] に表示されることを確認します。

5. 新しいハードウェアの検出ウィザード画面で、**[キャンセル]** をクリックして画面を閉じます。

ドライブの WD SmartWare ソフトウェアが My Book ドライブに合った適切なドライバをインストールします。

6. お使いのコンピュータのオペレーティング システムによっては複数の異なる画面が表示される場合があります。

使用するオペレーティング システム . . .	操作 . . .
Windows XP	ステップ 7 に続きます。
Windows Vista または Windows 7	8 ページ の ステップ 9 に進みます。

7. Windows XP の場合、1 つまたは 2 つの画面が表示されます。自動再生機能が有効、または無効に設定いるかによって、異なります。

自動再生機能の状態 . . . コンピュータ	操作 . . .
有効	ステップ a に続きます。
無効	ステップ b に進みます。

a. Windows XP で自動再生が有効になっている場合、WD SmartWare へようこそ画面が表示されます（図 5 を参照）。

b. Windows XP で自動再生が無効に設定されている場合、Windows エクスプローラの My Book ドライブ リストを開き、WD SmartWare アプリケーション ファイルをダブルクリックして、WD SmartWare へようこそ画面を表示します（図 5 を参照）。

図 5. WD SmartWare へようこそ画面

注： Flash Player がインストールされている場合は、アニメーション画面が表示されます。

8. 次のセクションの「WD SmartWare ソフトウェアを使い始める」へ進みます。

WD SmartWare ソフトウェアをインストールしない場合は、15 ページの「WD SmartWare ソフトウェアなしで使用開始」を参照してください。

9. Windows Vista または Windows 7 の場合、自動再生機能の有効 / 無効に従って、2 つまたは 3 つの画面が表示されます。

自動再生機能の状態 . . . コンピュータ	操作 . . .
有効	ステップ a に続きます。
無効	ステップ b に進みます。

a. Windows Vista または Windows 7 で自動再生が無効になっている場合、自動再生画面で **[フォルダを開いてファイルを表示]** をクリックし、WD SmartWare アプリケーション ファイルをダブルクリックして、WD SmartWare へようこそ画面を表示します（8 ページの図 5 を参照）。

b. Windows Vista または Windows 7 で自動再生が無効になっている場合、**コンピュータ** を開き、クリックして Windows エクスプローラの My Book ドライブ リストを開きます。WD SmartWare アプリケーション ファイルをダブルクリックして、WD SmartWare へようこそ画面を表示します（8 ページの図 5 を参照）。

10. 次のセクションの「WD SmartWare ソフトウェアを使い始める」へ進みます。

WD SmartWare ソフトウェアをインストールしない場合は、15 ページの「WD SmartWare ソフトウェアなしで使用開始」を参照してください。

WD SmartWare ソフトウェアを使い始める

WD SmartWare ソフトウェアの使用を開始するには、以下の手順を実行します。

1. WD SmartWare へようこそ画面の**何を行いますか？**プロンプトでは、WD SmartWare ソフトウェアの使用を開始するための 3 つのオプションが提供されます。

インストールする内容 . . .	以下をクリック . . .
WD SmartWare ソフトウェアの完全バージョン。連続自動バックアップ、取得、ドライブ ロック パスワード、ドライブ管理機能。 • 最初のバックアップの実行 • ドライブをパスワード保護または登録	**[WD SmartWare のインストール]** ボタン。
WD SmartWare ソフトウェア ドライブ ロック パスワード保護とドライブ管理機能、およびパスワード保護またはドライブの登録のみ	**[ドライブ設定のインストール]** ボタン。
WD SmartWare ソフトウェアの完全バージョンと、別のコンピュータの My Book ドライブに既にバックアップした取得ファイル	**[バックアップの取得]** リンク。

2. ライセンス契約を読み、**[同意]** をクリックして作業を続けます。
3. ソフトウェアのインストールの完了を待ちます。これには数分かかります。
4. ソフトウェアのインストールが完了したら、以下の手順を実行します。

クリックした対象 . . . ステップ 1	WD SmartWare ソフトウェアの表示内容 . . .
WD SmartWare のインストール	最初のバックアップを実行する初期バックアップ画面は次のとおりです（10 ページの図 6 を参照）。以下のいずれかの操作を実行できます。 • 最初のバックアップの実行 – **[バックアップの開始]** をクリックする前に 17 ページの「コンピュータ ファイルのバックアップ」を参照し、ステップ 5 に進みます。 • バックアップをスキップして、WD SmartWare の最初のドライブ設定画面を表示（11 ページの図 7）– **[バックアップ をスキップ]** をクリックする前に 28 ページの「ドライブのパスワード保護」と 38 ページの「ドライブの登録」を参照し、11 ページ の ステップ 6 に進みます。 *注：* この場合、WD SmartWare の最初のドライブ設定画面には、最初のバックアップ画面に戻るための **[バックアップに戻る]** ボタンが含まれています。

クリックした対象 . . . ステップ 1	WD SmartWare ソフトウェアの表示内容 . . .
ドライブ設定のインストール	ドライブのセキュリティを確保し、登録を行なうドライブ管理の最初のドライブ設定画面は次のとおりです（11 ページの図 7）。 a. 参照： • 28 ページの「ドライブのパスワード保護」 • 38 ページの「ドライブの登録」 b. 11 ページ の ステップ 7 に進みます。
バックアップの取得	WD SmartWare 全機能にアクセスするためのホーム画面。 a. 12 ページの図 8 と 24 ページの「バックアップされたファイルの取得」を参照してください。 b. これで、**[バックアップの取得]** を選択した後で、開始する手順は完了です。

注： 最初のバックアップとドライブ設定の画面は、初めて WD SmartWare ソフトウェアをコンピュータにインストールするときの一度だけ表示されます。その後は、ソフトウェアを起動するとホーム画面が表示され、処理を選択することができます。

5. 最初のバックアップの実行の後：

a. **[設定へ進む]** をクリックして、WD SmartWare の最初のドライブ設定画面を表示します（11 ページの図 7 を参照）。

b. **[継続]** をクリックして WD SmartWare ホーム画面を表示する前に（12 ページの図 8）28 ページの「ドライブのパスワード保護」と 38 ページの「ドライブの登録」を参照してください。

これで、**[WD SmartWare のインストール]** を選択し、最初のバックアップを実行した後の最初の手順が完了します。

図 6. 最初のバックアップ画面

WD SmartWare 最初のドライブ設定画面

ドライブ管理の最初のドライブ設定画面

図 7. 最初のドライブ設定画面

6. ドライブをパスワード保護、または登録した後、**[続行]** をクリックして WD SmartWare 最初のドライブ設定画面を閉じて、WD SmartWare ホーム画面（図 8）を表示します。

   これで、**[WD SmartWare のインストール]** を選択し、バックアップをスキップした後の最初の手順が完了します。

7. ドライブをパスワード保護、または登録した後、**[完了]** をクリックし、最初のドライブの設定画面を閉じます。

   これで、**[ドライブ設定のインストール]** を選択した後の、最初の手順が完了します。この場合、

   - WD SmartWare ソフトウェアを開いた後、ドライブ管理のホーム画面が表示されます（12 ページの図 9 を参照）。ドライブの管理機能をすべて実行するための **[設定]** タブのみがあります（36 ページの「ドライブの設定のカスタマイズ」を参照）。
   - **[設定]** タブをクリックすると、ドライブ管理のドライブの設定画面が表示されます。バックアップと取得機能を有効にする際に使用できる **[環境設定]** ボタンがあります（28 ページの図 17 と 41 ページの「バックアップと取得の機能を有効にする」を参照）。

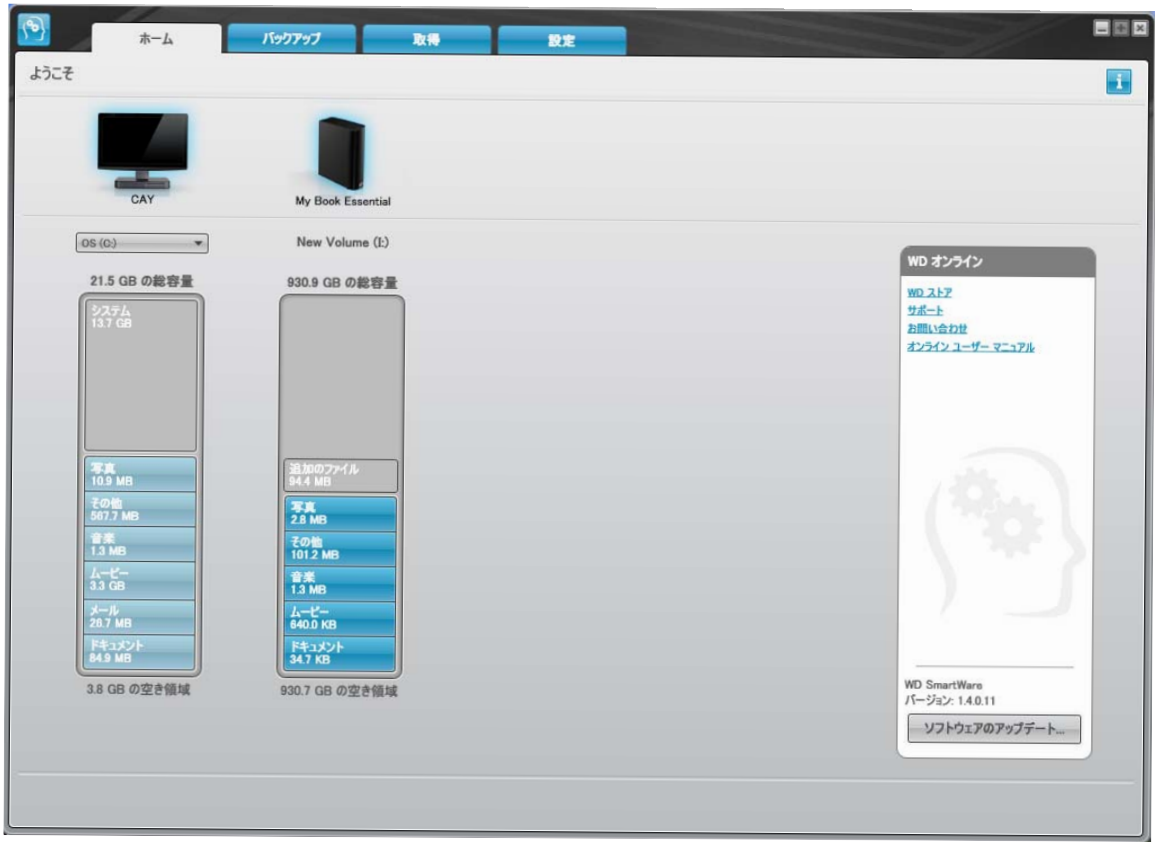


図 8. WD SmartWare ホーム画面

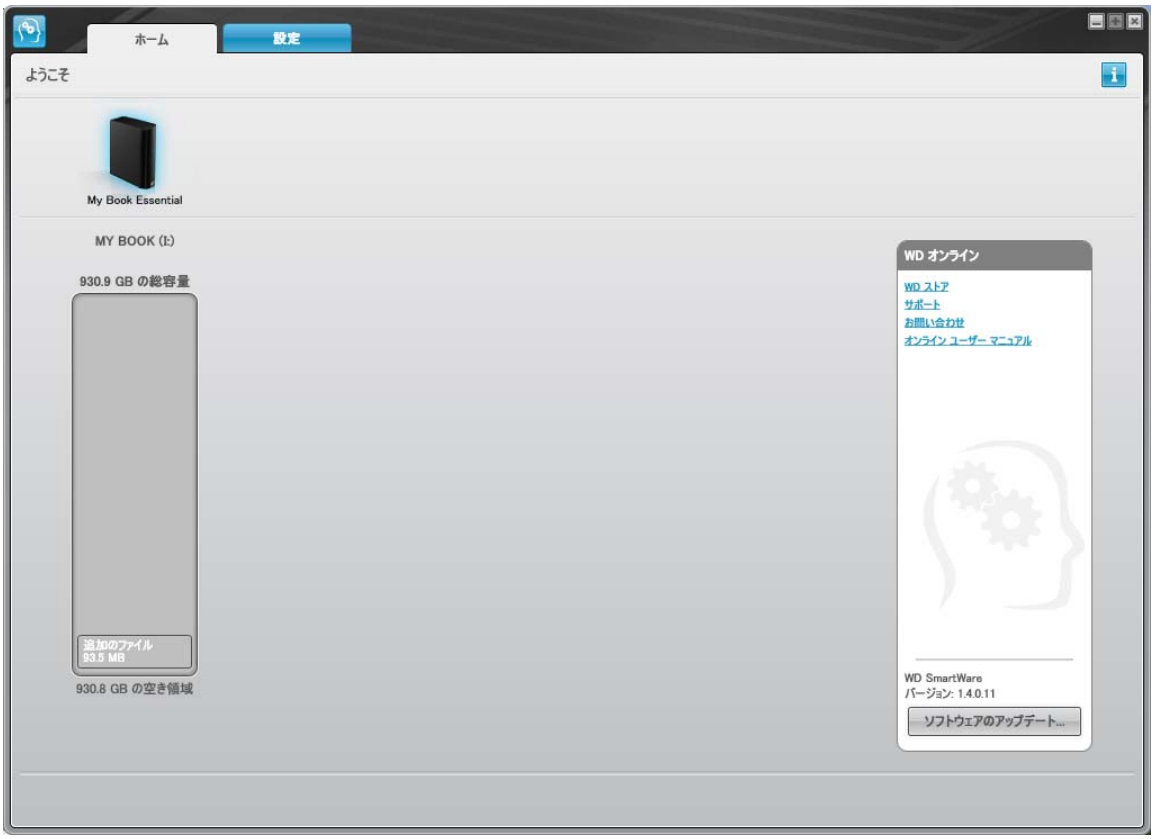


図 9. ドライブ管理のホーム画面

WD SmartWare 概要

WD SmartWare ソフトウェアは、以下の機能を実現する使いやすいツールです。

- ドライブを保護 – ドライブ設定で、パスワードを作成し、不正アクセスやデータの盗難からドライブを保護します。
- データを自動的に保護 – 自動的な連続バックアップにより、ファイルを追加あるいは変更した瞬間にコピーが作成されます。

  注： 自動バックアップ保護は、My Book ドライブがコンピュータに接続されている限り、連続的に実行されます。したがって、ドライブをコンピュータから外して再接続すると、WD SmartWare ソフトウェアは必ずコンピュータを再スキャンし、新しい、あるいは変更されたファイルを探して自動的な連続バックアップを再開します。

- 問題が発生するとバックアップを表示します – 百聞は一見にしかず。ビジュアルバックアップにより、内容をカテゴリに整理して表示し、バックアップの進捗を示します。
- 消失ファイルを容易に回復 – すべてのデータを失っても、あるいは重要なファイルを上書きしてしまった場合でも、貴重なデータを元の場所に回復します。

WD SmartWare ホーム画面

WD SmartWare ホーム画面は、4 つのタブ選択オプションを提供します。

- ホーム – コンテンツ ゲージにコンピュータ内の、あるいはコンピュータに接続されている各ドライブの容量を提供します（12 ページの図 8 を参照）
- バックアップ – ムービー、音楽、ドキュメント、電子メール、写真などの大切なデータの既存のバックアップを管理したり、新しいバックアップを作成します（18 ページの図 10 を参照）
- 取得 – 破損したり、上書きされた貴重なデータを取得します（25 ページの図 13 を参照）
- 設定 – セキュリティ、診断、電源設定、およびバックアップ パラメータを管理します（21 ページの図 11 を参照）

WD SmartWare ホーム画面では、コンピュータ名の下にあるドロップダウン選択ボックスを使って、分類するプライマリ ドライブを変更することができます。別のドライブを選択すると、WD SmartWare ソフトウェアはそのドライブ上のファイルのカテゴリを確認します。以下をクリック。

- **[バックアップ]** タブをクリックして、選択したドライブのファイルを My Book ドライブにバックアップします
- **[取得]** タブをクリックして、My Book ドライブのバックアップしたファイルをコンピュータの任意の場所に取得します

コンピュータのハード ドライブの コンテンツ ゲージ に、バックアップの対象となるすべてのファイルが、次の 6 つのカテゴリ別に青色の背景で表示されます。

ファイルのカテゴリ	対象ファイルの拡張子
ドキュメント	.doc、.txt、.htm、.html、.ppt、.xls、.xml、およびその他のドキュメントの拡張子
メール	.mail、.msg、.pst、およびその他のメールの拡張子
音楽	.mp3、.wav、.wma、およびその他の音楽の拡張子
ムービー	.avi、.mov、.mp4、およびその他のムービーの拡張子
写真	.gif、.jpg、.png、およびその他の写真の拡張子
その他	主要な 5 つのカテゴリに属さないその他のファイル

すべての対象ファイル拡張子のリストについては、*http://support.wdc.com* の WD ナレッジ ベースで Answer ID 3644 を検索してください。

メモ：

- 濃い灰色の背景で表示される**システム** カテゴリは、バックアップの対象にならないオペレーティング システム ファイルです。バックアップされないファイルとして、システム ファイル、プログラム ファイル、アプリケーション、.tmp や .log ファイルなどの作業ファイルがあります。
- 濃い灰色の背景で表示される**取得**カテゴリは、前のバックアップから取得されたファイルを示します。これらのファイルもバックアップの対象とはなりません。
- ポインタをカテゴリの上に移動すると、カテゴリ内のファイルの数が表示されます。

My Book ドライブのコンテンツ ゲージでは、**追加ファイル** カテゴリは、ドライブ プロパティの使用領域部分に表示されるすべてのファイルを含みます。この領域はバックアップの対象にはなりません。

注： WD SmartWare ソフトウェアを初めてインストールする場合（最初のバックアップを実行する前）、**追加のファイル**カテゴリには、ドライブをインストールする前にコンピュータのオペレーティング システムによって置かれていたシステム ファイルおよび隠しファイルを示す、少量のファイルが表示されます。

ドライブ管理のホーム画面

[ドライブ設定のインストール] を選択してソフトウェアをインストールし、最初のドライブ設定を完了した後、WD SmartWare ソフトウェアを開くと、ドライブ管理ホーム画面が使用可能になります。この画面は、2 つのタブ選択オプションを提供します。

- ホーム – コンテンツ ゲージに My Book ドライブの容量とコンテンツを表示します（12 ページの図 9 を参照）。
- 設定 – セキュリティ、診断、電源設定を WD SmartWare のドライブ設定画面として管理し、バックアップと取得機能を有効にする **[環境設定]** を提供します（28 ページの図 17 を参照）。

ファイルをドライブにコピーすると、コンテンツ ゲージに次の 6 つのカテゴリ別に表示されます。

- **ドキュメント**
- **メール**
- **音楽**
- **ムービー**
- **写真**
- **その他**

ファイルのカテゴリの説明については、13 ページの「WD SmartWare ホーム画面」を参照してください。

注： WD SmartWare ソフトウェアを初めてインストールする場合（ドライブにファイルをコピーする前）、**追加のファイル**カテゴリには、ドライブをインストールする前にコンピュータのオペレーティング システムによって置かれていたシステム ファイルおよび隠しファイルを示す、少量のファイルが表示されます。

情報 / オンライン ヘルプ トピックの表示

各 WD SmartWare 画面はオンライン ヘルプ情報に簡単にアクセスできるようになっていますから、バックアップ、取得および設定タスクを素早く実行できます。操作で確信が持てない場合は、画面の右上隅にある情報 / オンライン ヘルプ アイコン をクリックしてみてください。

オンラインヘルプを読んだ後、情報 / ヘルプ画面を閉じるには、画面の右上隅にある X アイコンをクリックします。

WD SmartWare ソフトウェアなしで使用開始

WD SmartWare ソフトウェアをインストールしない場合でも、My Book を外付けハードドライブとして使用できます。ただし、この場合、以下の機能を使用できません。

- 自動連続バックアップでデータを保護する（17 ページの「コンピュータ ファイルのバックアップ」を参照）
- 紛失または破損ファイルの以前のバージョンを取得する（24 ページの「バックアップされたファイルの取得」を参照）
- ドライブおよびドライブ内のファイルをパスワードで保護する（28 ページの「ドライブのロックとロック解除」を参照）
- 最高のパフォーマンスを得るために、ソフトウェアとドライブの設定をカスタマイズする（33 ページの「ドライブの管理とカスタマイズ」を参照）
- 内蔵の診断機能を使ってドライブの稼働状態をチェックする（43 ページの「ドライブの健康状態のチェック」を参照）

これらのパフォーマンスの機能を見送り、WD SmartWare ソフトウェアをインストールせずに開始するには、以下の手順を実行します。

1. WD SmartWare へようこそ画面で **[インストールしない]** をクリックし、**[WD SmartWare をインストールせずに作業を続けますか ?]** プロンプトを表示します。

2. 以下のいずれかをクリックします。
   - WD SmartWare ソフトウェアをインストールしない場合は、**[インストールせずに続行]** をクリックします。
   - WD SmartWare ソフトウェアをインストールしたくなった場合は、**[戻る]** をクリックします。この場合は、9 ページの「WD SmartWare ソフトウェアを使い始める」に進みます。

3 コンピュータ ファイルのバックアップ

この章では以下のトピックを取り上げます。

コンピュータ ファイルのバックアップについて
すべてバックアップ
高度なバックアップ機能

コンピュータ ファイルのバックアップについて

WD SmartWare ソフトウェアはコンピュータ上のすべてのファイル（音楽、ムービー、写真、ドキュメント、電子メール、およびその他のファイル）を自動的かつ連続的に My Book ドライブにバックアップします。

注： WD SmartWare を 1 回インストールすると、WD SmartWare ソフトウェアによって設定されている バックアップ ドライブを 3 台までサポートできます。

WD SmartWare ソフトウェアがコンテンツを様々なタイプに分類した後は、**[バックアップの開始]** ボタンをクリックするとそれらをすべてバックアップします。あるいは、ユーザーは、特定のタイプのコンテンツを選択してバックアップすることができます。

バックアップを実行すると、WD SmartWare ソフトウェアにより次のファイルがバックアップされ、ファイルが保護されます。

- コンピュータ上に作成される、あるいはハードドライブにコピーされる新しいファイル
- 変更される既存のファイル

この保護は自動的に行われ、WD SmartWare ソフトウェアはユーザーが何をしなくてもそれを実行し、コンピュータに接続されている My Book ドライブに任せます。

注： 自動バックアップ保護は、My Book ドライブがコンピュータに接続されている限り、連続的に実行されます。したがって、ドライブをコンピュータから外して再接続すると、WD SmartWare ソフトウェアは必ずコンピュータを再スキャンし、新しい、あるいは変更されたファイルを探して自動的な連続バックアップを再開します。

さらに、バックアップ画面（18 ページの図 10 を参照）は以下の機能を備えています。

- コンピュータのディスク ドライブのコンテンツ ゲージで、ファイルの数と各コンテンツ カテゴリのストレージ サイズを見ることができます
- **[詳細表示]** コンテンツボックスを使って、バックアップする特定のカテゴリのファイルやフォルダを選択でき、**[変更を適用する]** ボタンで、選択を確定します
- **[バックアップの開始]** および **[バックアップの停止]** ボタンでバックアップをコントロールします

図 10. バックアップ画面

コンピュータのディスク ドライブのコンテンツ ゲージに、**[バックアップの開始]** をクリックした場合にバックアップに含まれるカテゴリのファイルが表示されます。

- コンピュータのハードドライブのコンテンツ ゲージの薄い青色の背景は、バックアップの対象となる元のファイルを表しています。
- My Book ドライブのコンテンツ ゲージの灰色の背景は、元のファイルのバックアップ コピーの可能性を表しています。
- 薄い青色の背景は、バックアップされたファイルのカテゴリを示します。

My Book ドライブのコンテンツ ゲージでは、**追加のファイル**カテゴリは、ドライブ プロパティの使用領域部分に表示されるすべてのファイルを含みます。この領域はバックアップの対象にはなりません。

コンテンツ ゲージと **詳細表示**コンテンツ ボックス。

ファイルのカテゴリ	対象ファイルの拡張子
ドキュメント	.doc、.txt、.htm、.html、.ppt、.xls、.xml、およびその他のドキュメントの拡張子
メール	.mail、.msg、.pst、およびその他のメールの拡張子
音楽	.mp3、.wav、.wma、およびその他の音楽の拡張子
ムービー	.avi、.mov、.mp4、およびその他のムービーの拡張子
写真	.gif、.jpg、.png、およびその他の写真の拡張子
その他	主要な 5 つのカテゴリに属さないその他のファイル

メモ：

- 濃い灰色の背景で表示される**システム**カテゴリは、バックアップの対象にならないオペレーティング システム ファイルです。バックアップされないファイルとして、システム ファイル、プログラム ファイル、アプリケーション、.tmp や .log ファイルなどの作業ファイルがあります。
- 濃い灰色の背景で表示される**取得**カテゴリは、前のバックアップから取得されたファイルを示します。これらのファイルもバックアップの対象とはなりません。
- ポインタをカテゴリの上に移動すると、カテゴリ内のファイルの数が表示されます。
- すべての対象ファイル拡張子のリストについては、*http://support.wdc.com* の WD ナレッジ ベースで Answer ID 3644 を検索してください。

他の内蔵ハードドライブをバックアップするには、**[ホーム]** タブをクリックし、ドライブを選択します。

すべてバックアップ

コンピュータのすべてのファイルをバックアップするには、以下の手順を実行します。

1. **[バックアップ]** タブをクリックし、[バックアップ] 画面を表示します（18 ページの図 10 を参照）。
2. **[バックアップの開始]** をクリックして、ファイルをすべてバックアップします。
3. バックアップ中の動作。
   - [バックアップ] 画面に、バックアップされたデータ量を示す進捗バーとメッセージが表示されます。
   - コンピュータのハードドライブのコンテンツ ゲージの青色の背景は、まだバックアップされていないすべてのファイルに対しては、黄色に変わります。
   - My Book ドライブのコンテンツ ゲージの灰色の背景は、バックアップが完了すると、カテゴリごとに青色に変わります。
   - WD SmartWare ソフトウェアはすべてのファイルをバックグランドでバックアップするため、お手持ちのドライブの設定や他の機能の実行を継続することができます。
   - **[バックアップの停止]** ボタンを使ってバックアップを中止することができます。
4. バックアップの正常終了メッセージが表示される場合は、バックアップが正常に完了したことを示します。

   バックアップできないファイルがあった場合、WD SmartWare ソフトウェアは以下を表示します。

   - 関連ファイルの数を示す警告メッセージ
   - クリックして、バックアップされなかったファイルの一覧と理由を見ることができる **[表示]** リンク

   一部のアプリケーションや実行中のプロセスではファイルがバックアップされないことがあります。一部のファイルがバックアップされなかった理由がわからない場合は、以下を実行してください。

   - 開いているファイルをすべて保存して閉じる
   - 電子メール プログラムや Web ブラウザなどの実行中のアプリケーションをすべて閉じる

重要： ドライブがいっぱいであることを示す警告メッセージが表示される場合は、バックアップを完了するのに十分な空き容量がないことを示します。

最良の長期的なソリューションは、ドライブを長期のアーカイブ ストレージに格下げし、以下を実行することです。

a. **[ホーム]** タブをクリックし、ホーム画面を表示します。
b. WD オンライン ボックスの **[WD ストア]** リンクをクリックし、Western Digital Online Store ウェブサイトを参照します。
c. **[外付けハードドライブ]** をクリックし、将来の要求に最適なドライブを選択します。

5. ステップ 3 で **[バックアップの停止]** を選択した場合、**[バックアップを中止しますか?]** という確認プロンプトが表示され、完了前にバックアップを中止すると WD SmartWare ソフトウェアは My Book ドライブにコピーされたばかりのバックアップ ファイルをすべて削除するという注意を促します。

継続するには、以下のいずれかをクリックします。

- **[バックアップの継続]** – 一時停止要求を無視してバックアップを再開する
- **[バックアップの停止]** – 要求を実行し、バックアップを中止して新たに作成したバックアップ ファイルを削除

高度なバックアップ機能

以下のような高度なバックアップ機能を備えています。

- バックアップするファイルを選択
- バックアップ ソフトウェアの設定の変更
  - 保持するバックアップ バージョンの数の選択
  - コンピュータがアイドル状態になるまでバックアップを一時停止

バックアップするファイルを選択

コンピュータの一部のファイルをバックアップするには、以下の手順を実行します。

1. [バックアップ] 画面（18 ページの図 10 を参照）で、**[詳細表示]** を選択してバックアップ ファイル コンテンツ ボックスを開きます。

2. バックアップ ファイル コンテンツ ボックスで以下の操作を行います。
   - バックアップに含めるファイルのカテゴリのチェックボックスをオンにする
   - バックアップから除外するファイルのカテゴリのチェックボックスをオフにする
3. **[変更を適用する]** をクリックして My Book ドライブのコンテンツ ゲージを更新します。
4. **[バックアップの開始]** をクリックして、選択したカテゴリのファイルをバックアップします。

バックアップ ソフトウェアの設定の変更

バックアップの最適化のために、以下の操作を行うことができます。

- ファイルごとに保存するバックアップ バージョンの数を指定する
- コンピュータがアイドル状態になるまでバックアップを一時停止

これらのバックアップ オプションを設定するには、以下の手順を実行します。

1. **[設定]** タブをクリックし、設定画面を表示します（図 11 を参照）。
2. **[ソフトウェアの設定]** をクリックし、[ソフトウェアの設定] 画面を表示します（22 ページの図 12 を参照）。
3. 参照。
   - 22 ページの「バックアップ バージョンの数を指定」
   - 23 ページの「コンピュータがアイドル状態になるまでバックアップを一時停止」

図 11. WD SmartWare 設定画面

図 12. ソフトウェアの設定画面

バックアップ バージョンの数を指定。WD SmartWare ソフトウェアを使えば、ファイルごとに最大 25 まで旧バージョンを保持することができます。誤ってファイルを上書き、あるいは削除してしまって、数バージョン遡ってファイルを見たい場合でも、WD SmartWare ソフトウェアがコピーを保持しています。ファイルごとに最新の指定数の取得可能なバージョンを常に持つことになり、1 から 25 までのバージョンを保存するように選ぶことができます。

より多くのバージョンを保持すると。

- 過去に遡ってファイルを取得できます
- ディスク スペースをより多く消費します

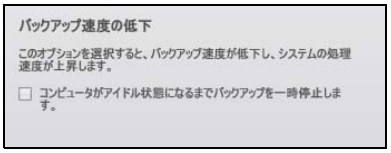
ファイルごとに保存するバックアップ バージョンの数を指定するには、以下の手順を実行します。

1. ソフトウェアの設定画面（図 12 を参照）で、**[ファイルの履歴]** をクリックし、ファイルの履歴の設定ダイアログを表示します。

2. **ファイルごとに保持するバックアップ バージョンの番号を入力** ボックスに、保存するファイル バージョンの数 (1 ～ 25) を入力します。
3. **[適用]** をクリックしてバックアップ バージョンの新しい数を保存し、確定します。

コンピュータがアイドル状態になるまでバックアップを一時停止。大きなバックアップには時間がかかり、システムの処理リソースを大量に消費する可能性があります。WD SmartWare ソフトウェアはバックグランドで動作するため、コンピュータで動作中はリソースを最小限に抑えられますが、コンピュータがアイドル状態になるまですべてのバックアップを中断したい場合は、[バックアップ速度] オプションを有効にします。

1. ソフトウェアの設定画面（22 ページの図 12 を参照）で、**[バックアップ速度]** をクリックし、バックアップ速度の低下ダイアログを表示します。



2. **[コンピュータがアイドル状態になるまでバックアップを一時停止します]** チェックボックスをオン、オフして、バックアップ速度オプションを有効、または無効にします。

4 バックアップされたファイルの取得

この章では以下のトピックを取り上げます。

ファイルの取得について
ファイルの取得
フォルダの取得
ファイルまたは削除されたファイルの古いバージョンを取得する
ファイルをすべて取得する

ファイルの取得について

WD SmartWare ソフトウェアでは、My Book ドライブ上にバックアップされたファイルを簡単に取得して以下のいずれかにコピーすることができます。

- コンピュータ上の元の場所
- 特別な取得フォルダ

取得は通常 5 ステップのプロセスです。

1. ホーム画面でファイルの取得元のドライブを選択します。
2. ファイルを取得するバックアップを選択します。
3. ファイルを特別な取得フォルダ、または元の場所のどちらにコピーするか選択します。
4. 個別のファイル、フォルダ、すべてのデータのいずれかから、取得するファイルを選択します。
5. ファイルを取得します。

ファイルの取得

ホーム画面でドライブを選択した後、ファイルを取得するには以下の手順を実行します。

1. **[取得]** タブをクリックし、[取得] 画面を表示します（25 ページの図 13 を参照）。
2. **[バックアップしたボリューム]** ボックスで、ファイルまたはフォルダを取得する WD SmartWare ボリュームを選択し、**[保存先の選択]** をクリックして、[取得したファイルの保存先を選択] 画面を表示します（25 ページの図 14 を参照）。
3. [取得したファイルの保存先を選択] 画面で以下の操作を行います。

取得されたファイルのコピー先が以下の場合 . . .	操作 . . .
元の場所	a. **[元の場所]** オプションを選択します。 b. **[ファイルの選択]** をクリックして、取得するコンテンツの選択 ... 画面（26 ページの図 15 を参照）を表示し、26 ページの ステップ 4 に進みます。
取得したコンテンツのフォルダ	a. **[取得したコンテンツのフォルダ]** オプションを選択します。 b. 別の取得フォルダを指定する場合は、**[参照]** をクリックし、参照機能を使って新しい取得フォルダを特定します。 c. **[適用]** をクリックして新しい取得フォルダを保存し、確定します。 d. **[ファイルの選択]** をクリックして、取得するコンテンツの選択 ... 画面（図 15 を参照）を表示し、26 ページ の ステップ 4 に進みます。

図 13.　取得画面

図 14.　取得したファイルの保存先を選択画面

図 15. 取得するコンテンツの選択画面

4. 取得するコンテンツの選択 ... 画面で、**[一部のファイルを取得]** を選択し、取得ファイルの選択ボックス（27 ページの図 16 を参照）を表示します。
5. フォルダ構成に移動して対象ファイルを見つけます。検索ボックスを使って、ファイルまたはフォルダの名前（または名前の一部）を入力することもできます。
   - 適切なファイル カテゴリ ボタンをクリックして、カテゴリ別にファイルを一覧表示します。
     - 写真
     - 音楽
     - ムービー
     - ドキュメント
     - その他
     - メール
   - **[表示]** アイコンを選択して個々のファイルを表示します。
   - ファイルを検索するには、ワイルドカード文字の疑問符 (?) を使用しながら、検索ボックスにファイル名の全体または一部を入力し、**[Enter]** を押して検索を開始します。検索フィルタを除くには、検索ボックス内のテキストをすべて削除し、**[Enter]** を押します。
   - 取得するファイルのチェックボックスをオンにします。
6. **[取得の開始]** をクリックします。

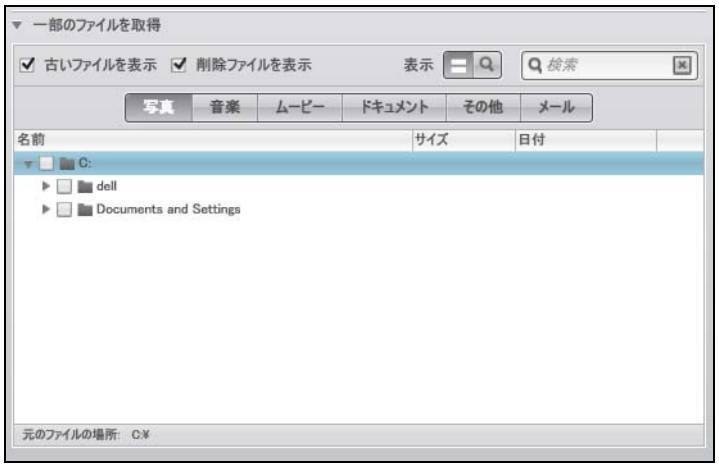


図 16. 取得ファイルの選択ボックス

7. 取得中の動作。
   - [取得] 画面に、指定取得場所にコピーされたデータ量を示す進捗バーとメッセージが表示されます。
   - **[取得のキャンセル]** ボタンを使って、取得をを中止することができます。

8. **[取得完了]** メッセージは、取得が完了したことを示します。

   [部分的取得完了] メッセージは、取得するために選択したファイルがすべて指定取得場所にコピーされなかったことを示します。この場合、次のいずれかのメッセージが表示されます。
   - **[ファイルは取得されませんでした]** メッセージは、取得されなかったファイルの数と取得失敗情報画面へのリンクを表示します。**ファイルの表示**リンクをクリックして、取得されなかったファイルのリストと理由を表示します。
   - **[保存先がいっぱいです]** メッセージは、コンピュータに取得を完了するのに十分な空き容量がないことを示します。

フォルダの取得

ドライブから 1 つのフォルダ、および複数のカテゴリにわたっている可能性のある 1 つのフォルダ内のすべてのファイルを取得するには、取得ファイルの選択ボックス（図 16 を参照）で、対象のフォルダを右クリックし、**[すべてのコンテンツカテゴリのフォルダを選択]** を選択します。

ファイルまたは削除されたファイルの古いバージョンを取得する

取得ファイルの選択ボックス（図 16 を参照）で、**[削除ファイルを表示]** ボックスおよび / または **[古いファイルを表示]** ボックスをクリックします。これで、取得するコンテンツを選択すると、上書き、あるいは削除された個々のファイルを選択することができます。同様に、この方法でフォルダ全体を取得すれば、古いバージョンと削除されたファイルも取得されます。

ファイルをすべて取得する

取得するコンテンツの選択 ... 画面（26 ページの図 15 を参照）で、**[すべてのファイルを取得]** オプションを選択すると、すべてのカテゴリにわたるファイルを取得し、それらを元の場所またはコンテンツ取得フォルダのいずれかにコピーします。

5 ドライブのロックとロック解除

この章では以下のトピックを取り上げます。

ドライブのパスワード保護
ドライブのロック解除
パスワードの変更
ドライブ ロック機能を無効にする

ドライブのパスワード保護

誰か他の人がドライブにアクセスするのではないか心配な場合、また、他の人がドライブ上のファイルを表示できないようにしたい場合は、ドライブをパスワードで保護してください。

注意！ WD SmartWare ソフトウェアはユーザーのパスワードを使ってドライブをロックしたり、ロックを解除したりします。パスワードを忘れた場合は、ドライブ上のデータにアクセスしたり、新しいデータを書き込むことができなくなります。その場合、再度使用するにはドライブの消去が必要になります。

最初の開始のプロセスの間に、または WD SmartWare ソフトウェア内の **[設定]** タブの [ドライブの設定] 画面から、パスワード管理の [セキュリティの設定] ダイアログにアクセスすることができます。以下が可能です：

- パスワードを作成する
- パスワードを変更する
- パスワードを使用しないように設定する

パスワードを使って、他の人がドライブ上のファイルにアクセスできないようにする。

1. **[設定]** タブをクリックし、WD SmartWare 設定画面（21 ページの図 11）、またはドライブ管理のドライブの設定画面を表示します（図 17）。
2. WD SmartWare 設定画面を開いたら、**[ドライブの設定]** をクリックし、WD SmartWare ドライブの設定画面を表示します（図 17）。

WD SmartWare ドライブの設定画面

ドライブ管理のドライブの設定画面

図 17. ドライブの設定画面

3. ドライブ設定画面で、**[セキュリティ]** をクリックし、[セキュリティの設定] ダイアログを表示します。

4. **[パスワードの選択]** ボックスにパスワードを入力します。
5. **[パスワードの確認]** ボックスに再度パスワードを入力します。
6. **[パスワードのヒント]** ボックスにパスワードを思い出すためのヒントを入力します。
7. パスワードを忘れた場合にデータを失う可能性があるという警告を読んでください。
8. **[同意する]** チェックボックスをオンにしてそのリスクを受け入れることを知らせます。
9. **[セキュリティ設定の保存]** をクリックし、パスワードを保存してドライブのパスワード保護を有効にします。

注意！ パスワードを作成すると、ドライブは、現在の作業セッションを続けている限り、*ロック解除*の状態を維持します。その後、WD SmartWare ソフトウェアは、以下を実行します。

- **コンピュータをシャットダウンするか、ドライブを外すか、またはコンピュータがスリープモードに入ると、ドライブをロックする**
- **コンピュータを再起動、あるいはドライブを再接続するとき、ドライブを解除するために、パスワードの入力を要求する**

ドライブのロック解除

パスワードを作成して他の人がドライブ上のファイルにアクセスできないようにした後は、以下の操作を行う際、必ずドライブをロック解除するためにパスワードを入力する必要があります。

- コンピュータをシャットダウンして再起動する
- ドライブを外してコンピュータに再接続する
- コンピュータがスリープ モードを終了する

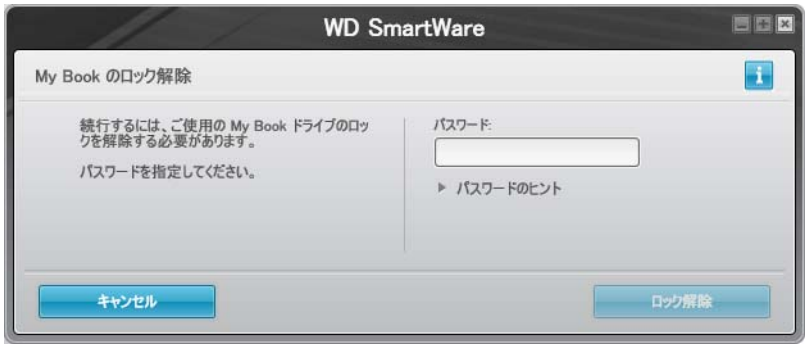
コンピュータに WD SmartWare ソフトウェアをインストールしていない場合でも、この操作を行う必要があります。

WD SmartWare ソフトウェアを使ってドライブのロックを解除する

コンピュータをシャットダウンおよび再起動する場合、あるいはドライブをコンピュータから外して再接続する場合、必ず、WD SmartWare ソフトウェアは My Book ドライブのコンテンツ ゲージに **[ドライブはロックされています]** メッセージを表示します。

WD SmartWare ソフトウェアを使ってドライブのロックを解除するには、以下の手順を実行します。

1. **[ドライブはロックされています]** メッセージの上に示される My Book イメージをクリックして、WD SmartWare ドライブのロック解除画面を表示します。



2. **[パスワード]** ボックスにパスワードを入力します。
3. **[ロック解除]** をクリックしてドライブのロックを解除し、WD SmartWare ソフトウェアを有効にします。

WD SmartWare ソフトウェアを使わずにドライブのロックを解除する

パスワード保護されたドライブを WD SmartWare ソフトウェアがインストールされていないコンピュータに接続すると、WD SmartWare ドライブのロック解除ユーティリティを使用してドライブのロックを解除することができます。WD SmartWare ソフトウェアは、ドライブがロックされると、Windows エクスプローラ ディスプレイの [マイ コンピュータ] に表示される「仮想」CD ドライブ (VCD) についてドライブのロック解除ユーティリティを提供します。

WD SmartWare ソフトウェアがインストールされていないドライブのロックを解除するには、以下の手順を実行します。

1. 次のいずれかの方法で WD SmartWare ドライブのロック解除ユーティリティを起動します。
   - コンピュータのファイル管理ユーティリティを使って、仮想 CD のロック解除を開き、Unlock.exe ファイルをダブルクリックする
   - **[スタート]** > **[マイ コンピュータ]** をクリックして、リムーバブル記憶域がある デバイスの下にある WD ロック解除仮想 CD アイコンをダブルクリックする

2. **[パスワード]** ボックスにパスワードを入力します。
3. **[ロック解除]** をクリックしてドライブのロックを解除します。
4. **[ドライブは現在ロックが解除されています]** というプロンプトが出たら、**[終了]** をクリックして WD SmartWare ドライブのロック解除ユーティリティを閉じます。

パスワードの変更

パスワードを変更するには、以下の手順を実行します。

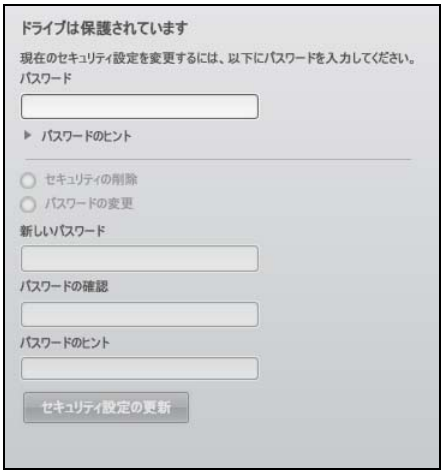
1. WD SmartWare ドライブの設定画面、またはドライブ管理のドライブの設定画面（28 ページの図 17 を参照）のいずれかで、**[セキュリティ]** をクリックし、[ドライブは保護されています] ダイアログを表示します。

2. **[パスワード]** ボックスにパスワードを入力します。
3. **[パスワードを変更]** オプションを選択します。
4. **[パスワードの選択]** ボックスに新しいパスワードを入力します。
5. **[パスワードの確認]** ボックスに再度新しいパスワードを入力します。
6. **[パスワードのヒント]** ボックスに新しいパスワードを思い出すためのヒントを入力します。
7. **[セキュリティ設定の更新]** をクリックしてパスワードを変更します。

ドライブ ロック機能を無効にする

ドライブからパスワード保護を解除するには、以下の手順を実行します。

1. WD SmartWare ドライブの設定画面、またはドライブ管理のドライブの設定画面（28 ページの図 17 を参照）のいずれかで、**[セキュリティ]** をクリックし、[ドライブは保護されています] ダイアログを表示します。



2. **[パスワード]** ボックスにパスワードを入力します。
3. **[セキュリティの削除]** オプションを選択します。
4. **[セキュリティ設定の更新]** をクリックしてドライブからパスワード保護を解除し、[セキュリティ設定] 画面を再表示します。

6 ドライブの管理とカスタマイズ

この章では以下のトピックを取り上げます。

WD SmartWare アイコンを使用する
WD SmartWare ソフトウェアを開く
ドライブ ステータスをチェックする
アイコン アラートの監視
ドライブを安全に取り外す
ソフトウェア設定のカスタマイズ
ドライブの設定のカスタマイズ
WD SmartWare ソフトウェアのアンインストール
WD SmartWare ソフトウェアとディスク イメージの復元

WD SmartWare アイコンを使用する

WD SmartWare ソフトウェアをインストールすると、WD SmartWare アイコンが Windows のタスク バーに表示されます。

このアイコンをクリックすると、以下の操作を実行することができます。

- WD SmartWare ソフトウェアを開く
- ドライブ ステータスをチェックする
- アイコン アラートを監視する
- ドライブを安全に取り外す

以降のセクションでは、アイコンの使用法およびこれらを行なう他の方法について説明します。

WD SmartWare ソフトウェアを開く

WD SmartWare が自動的に起動しない場合、次のようにして起動できます。

- **[スタート]** > **[すべてのプログラム]** > **WD SmartWare** > **WDSmartWare** をクリックします。
- タスク バーにある WD SmartWare アイコン をダブルクリックします。

注： タスク バーにある WD SmartWare アイコンを左クリックまたは右クリックして、**WD SmartWare** を選択することもできます。

ドライブ ステータスをチェックする

タスク バー内の WD SmartWare アイコンの上にポインタを重ねると、使用中のドライブ容量とドライブ温度、およびドライブのロック状態が表示されます。

アイコン アラートの監視

タスク バーの WD SmartWare アイコンは、次のように点滅してドライブ ステータスを示します。

WD SmartWare アイコンの点滅の状態 . . .	ドライブの想定される状態 . . .
緑と白	ロックされているか、WD SmartWare ソフトウェアが対応していないフォーマットです（Windows 環境における非 Windows フォーマット）。
赤と白	過熱しています。 ドライブの電源を切って、60 分間冷却してください。電源を再投入した後、まだ問題がある場合は、WD サポートにご連絡ください。

ドライブを安全に取り外す

注意！ データの損失を防ぐため、ドライブをシャットダウンあるいは取り外すときは、その前に実行中のウィンドウとアプリケーションをすべて閉じてください。

コンピュータからドライブを安全に取り外す方法は 2 通りあります。

- タスク バーにある WD SmartWare アイコンを使用する
- ドライブ電源ボタンを使用する

WD SmartWare アイコンを使用する

WD SmartWare アイコンを使用してドライブを安全に取り外すには、以下の手順を実行します。

1. タスク バーにある WD SmartWare アイコンを右クリックして、**[安全な削除 My Book Essential USB HDD]** をクリックします。

   ドライブの電源が落ちる音が確認できるはずです。

2. ドライブをコンピュータから取り外す前に、電源 / 動作状況 LED がオフになるのを待ちます。

ドライブ電源ボタンを使用する

ドライブ電源ボタンを使用してドライブを安全に取り外すには、以下の手順を実行します。

1. My Book ドライブの背面にある電源ボタンを押します。

   ドライブの電源が落ちる音が確認できるはずです。

2. ドライブをコンピュータから取り外す前に、電源 / 動作状況 LED がオフになるのを待ちます。

ソフトウェア設定のカスタマイズ

WD SmartWare ソフトウェアでは、ドライブで最高のパフォーマンスを得るために、以下を実行して、そのソフトウェアの設定を簡単に、素早くカスタマイズできます。

- ファイルごとに保存するバックアップ バージョンの数を指定する
- コンピュータがアイドル状態になるまでバックアップを一時停止
- ドライブから取得したファイルを格納する独自のフォルダを指定する
- WD SmartWare ソフトウェア アップデートを自動的に確認する

ドライブで最高のパフォーマンスを得るために、WD SmartWare ソフトウェアの設定をカスタマイズするには、ソフトウェアの設定画面（22 ページの図 12 を参照）で、以下を実行します。

実行する内容 . . .	以下をクリック . . .	参照 . . .
ファイルごとに保存するバックアップ バージョンの数を指定する	**ファイルの履歴**	22 ページの「バックアップ バージョンの数を指定」
バックアップを常時有効にする、あるいはコンピュータがアイドルになるまで禁止する	**バックアップ速度**	23 ページの「コンピュータがアイドル状態になるまでバックアップを一時停止」
別の取得フォルダへのパスを指定	**取得フォルダ**	35 ページの「別の取得フォルダを指定する」
My Book ドライブをコンピュータに再接続する際のソフトウェア更新をチェックするオプションを変更する	**環境設定**	36 ページの「環境設定オプションの設定」

別の取得フォルダを指定する

取得を開始すると、取得されたファイルを次のどちらに格納するかを選択できます。

- コンピュータ上の元の場所
- 取得されたコンテンツ フォルダ

デフォルトで、WD SmartWare ソフトウェアは、取得されたコンテンツサブフォルダを、マイ ドキュメントフォルダに作成して使用します。別のフォルダを指定するには、以下の手順を実行します。

1. 新しいフォルダを作成するか、使用する既存のフォルダを決定します。
2. ソフトウェアの設定画面（22 ページの図 12 を参照）で、**[取得フォルダ]** をクリックし、取得フォルダの設定ダイアログを表示します。

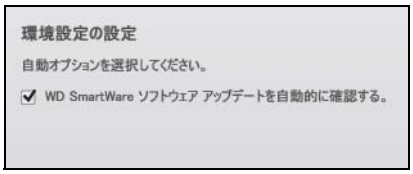
3. **[参照]** をクリックし、参照機能を使って新しい取得フォルダを確認します。
4. **[適用]** をクリックして新しい取得フォルダを保存し、確定します。

環境設定オプションの設定

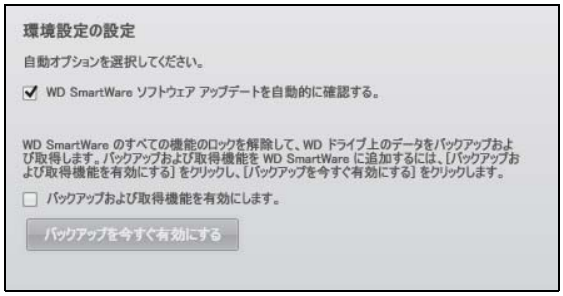
これを有効にすると、My Book ドライブをコンピュータに再接続する都度、環境設定オプションにより、ソフトウェアの更新のチェックが実行されます。これにより、常に最新のソフトウェア バージョンを使うことができます。

環境設定オプションを有効、または無効にするには以下の手順を実行します。

1. ソフトウェアの設定画面（22 ページの図 12）か、またはドライブ管理のドライブの設定画面（28 ページの図 17）で、**[環境設定]** をクリックし、環境設定の設定ダイアログを表示します。



WD SmartWare 環境設定の設定ダイアログ



ドライブ管理の環境設定の設定ダイアログ

2. **[WD SmartWare ソフトウェア アップデートを自動的に確認する]** チェックボックスをオン、またはオフにして環境設定オプションを有効、または無効にします。

   注： ドライブ管理の環境設定の設定ダイアログの **[バックアップおよび取得機能を有効にします]** チェックボックスの詳細については、41 ページの「バックアップと取得の機能を有効にする」を参照してください。

ドライブの設定のカスタマイズ

WD SmartWare ソフトウェアでは、最高のパフォーマンスを得るために、ドライブの設定を簡単に、素早くカスタマイズできます。

- セキュリティ – ドライブ上のファイルに他の人がアクセスできないようにするパスワードを作成、修正、および無効にします。
- 登録 – ドライブを登録して、保証期間中、無料のテクニカルサポートを受け、また、ソフトウェアの更新、製品の改良、割引価格などの情報を知ることができます。
- 診断情報 – 診断とステータス チェックを実行してドライブが適切に機能していることを確認します。
- スリープ タイマー – 長時間非活動の間、ドライブをオフにして、電力を節約し、ドライブの寿命を延ばします。
- ドライブ消去 – 所有しているパスワードを含み、ドライブ上のコンテンツをすべて消去します。
- 環境設定 – WD SmartWare へようこそ画面で **[何を行いますか ?]** プロンプトで **[ドライブ設定のインストール]** を選択した場合、ソフトウェアの更新をチェック、またはバックアップと取得の機能を有効にすることができます。

最高のパフォーマンスを得るためにドライブの設定をカスタマイズするには、WD SmartWare ドライブの設定画面またはドライブ管理のドライブの設定画面（28 ページの図 17 を参照）で、以下を実行します。

実行する内容 . . .	以下をクリック . . .	参照 . . .
パスワードを使って、他の人がドライブ上のファイルにアクセスできないようにする	**セキュリティ**	28 ページの「ドライブのパスワード保護」
パスワードを変更する	**セキュリティ**	31 ページの「パスワードの変更」
ドライブからパスワード保護を解除する	**セキュリティ**	32 ページの「ドライブ ロック機能を無効にする」
ドライブを登録して、保証期間中、無料のテクニカルサポートを受け、最新の WD 製品の状態に維持する	**登録**	38 ページの「ドライブの登録」
ドライブの診断とステータスチェックを実行する	**診断情報**	43 ページの「ドライブの健康状態のチェック」
ドライブをオフにする非アクティブ間隔を指定する	**スリープ タイマー**	38 ページの「ドライブのスリープ タイマーの設定」
領域を回復し、新たなバックアップのセットを開始できるようにドライブを消去する	**ドライブ消去**	39 ページの「ドライブの消去」
WD SmartWare ドライブをコンピュータに再接続する際のソフトウェア更新をチェックするオプションを変更する	**環境設定** （ソフトウェアの設定画面、またはドライブ管理のドライブの設定画面のいずれかで使用可能）	36 ページの「環境設定オプションの設定」
バックアップと取得の機能を有効にする	**環境設定** （ドライブ管理のドライブの設定画面でのみ使用可能）	41 ページの「バックアップと取得の機能を有効にする」

ドライブの登録

WD SmartWare ソフトウェアはお客様のコンピュータのインターネット接続を使ってドライブを登録します。ドライブを登録して、保証期間中、無料のテクニカル サポートを受け、最新の WD 製品の状態に維持するには、以下の手順を実行します。

1. コンピュータがインターネットに接続されていることを確認します。
2. ドライブの設定画面（28 ページの図 17 を参照）で、**[登録]** をクリックし、ドライブの登録ダイアログを表示します。

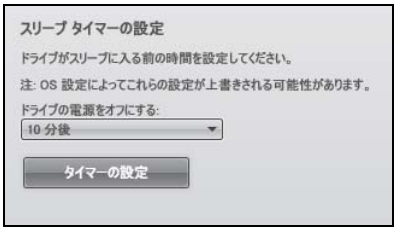
3. **[名]** ボックスに名前を入力します。
4. **[姓]** ボックスに名字を入力します。
5. **[電子メール アドレス]** ボックスに電子メール アドレスを入力します。
6. **[選択言語]** ボックスで言語を選択します。
7. **[はい、メールを希望します ...]** チェックボックスをオン、またはオフにして、ソフトウェアの更新、製品の改良、割引価格などの通知を電子メールで受けたいかどうかを指定します。
8. **[ドライブの登録]** をクリックしてドライブを登録します。

ドライブのスリープ タイマーの設定

ドライブのスリープ タイマーにより、一定の非活動期間後、ドライブをオフにして電力を節約し、ドライブの磨耗を最小限に抑えます。

スリープ タイマーに対する非活動期間を指定するには、以下の手順を実行します。

1. ドライブの設定画面（28 ページの図 17 を参照）で、**[スリープ タイマー]** をクリックし、スリープ タイマーの設定 ダイアログを表示します。



2. **[ドライブをオフにする]** ボックスで、ドライブをオフにする非活動時間間隔を選択します。
3. **[タイマーの設定]** をクリックしてスリープ タイマーの設定を保存し、確定します。

ドライブの消去

注意！ ドライブを永久的に消去すると、ドライブ上のデータはすべて削除されます。ドライブを消去する前に、ドライブ上のデータが必要ないことを、常に確認してください。

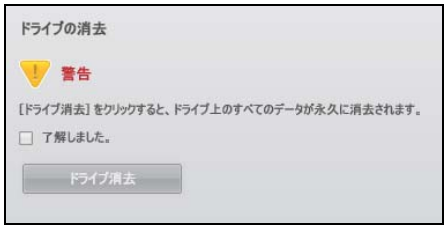
注： ドライブを永久的に消去すると、WD SmartWare ソフトウェア、サポート ファイル、ユーティリティ、オンライン ヘルプ、ユーザー マニュアルもすべて削除されます。ドライブを消去した後、これらのファイルをダウンロードして、My Book を元の構成も戻すこともできます。

WD SmartWare ソフトウェアは、My Book ドライブがロックされているか否かに依存して、ドライブを消去するための 2 つの方法を用意しています。

ドライブの状態 . . .	ユーザーの目的 . . .	参照 . . .
ロックされていない	ドライブを*消去したい*	次のセクションの「ドライブの設定のドライブ消去機能を使用する」
ロックされている	パスワードを忘れたか、またはパスワードの消失により、ドライブの*消去が必須*	40 ページの「ドライブのロック解除ユーティリティを使用する」

ドライブの設定のドライブ消去機能を使用する。ドライブがロックされていない場合に My Book ドライブを消去するには、以下の手順を実行します。

1. ドライブの設定画面（28 ページの図 17 を参照）で、**[ドライブ消去]** をクリックし、ドライブの消去ダイアログを表示します。



2. ドライブを消去するとデータを失うことについての警告を読んでください。
3. **[了解]** チェックボックスをオンにしてそのリスクを受け入れることを知らせます。
4. **[ドライブ消去]** をクリックしてドライブを消去します。

ドライブ消去の操作が完了したら、*support.wdc.com* をご覧になり、My Book ドライブにおける WD SmartWare ソフトウェアとディスク イメージのダウンロードと復元の詳細についてナレッジ ベースの Answer ID #5419 を参照してください。

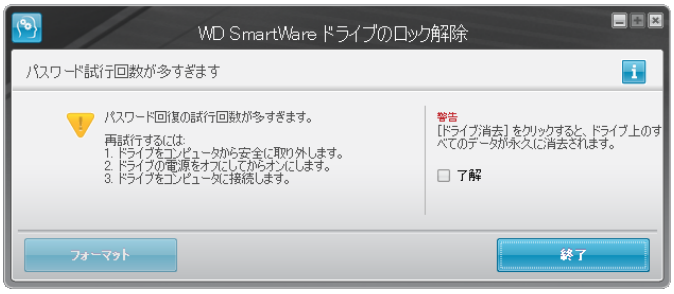
注： ドライブを消去するとパスワードも削除されます。パスワードを使ってドライブを保護したい場合は、WD SmartWare ソフトウェアとディスク イメージを復元した後、パスワードを再度作成します。（28 ページの「ドライブのパスワード保護」を参照してください。）

ドライブのロック解除ユーティリティを使用する。ドライブがロックされており、かつパスワードを忘れたか、またはパスワードを消失した場合に My Book ドライブを消去するには、以下の手順を実行します。

1. 以下のいずれかの方法を実行：
   - ホーム画面の **[ドライブはロックされています]** プロンプトの上に示される My Book イメージをクリックして、WD SmartWare ドライブのロック解除画面を開きます。

   - 次のいずれかの方法で WD SmartWare ドライブのロック解除ユーティリティを起動します。
     - コンピュータのファイル管理ユーティリティを使って、WD ロック解除仮想 CD を開き、Unlock.exe ファイルをダブルクリックする
     - **[スタート]** > **[マイ コンピュータ]** をクリックして、リムーバブル記憶域があるデバイスの下にある WD ロック解除仮想 CD のリストを開き、Unlock.exe ファイルをダブルクリックする

2. ドライブのロックを解除するには、以下を 5 回実行します。
   a. **[パスワード]** ボックスにパスワードを入力します。
   b. **[ロック解除]** をクリックします。
3. 無効なパスワードを 5 回入力すると、**[パスワード試行回数が多すぎます]** プロンプトが表示されます。



4. ドライブを消去するとデータを失うことについての警告を読んでください。
5. **[了解]** チェックボックスをオンにしてそのリスクを受け入れることを知らせます。
6. **[フォーマット]** をクリックしてドライブを消去します。

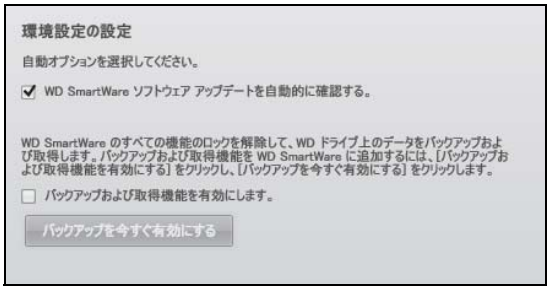
ドライブ消去の操作が完了したら、*support.wdc.com* をご覧になり、My Book ドライブにおける WD SmartWare ソフトウェアとディスク イメージのダウンロードと復元の詳細についてナレッジ ベースの Answer ID #5419 を参照してください。

注： ドライブを消去するとパスワードも削除されます。パスワードを使ってドライブを保護したい場合は、WD SmartWare ソフトウェアとディスク イメージを復元した後、パスワードを再度作成します。（28 ページの「ドライブのパスワード保護」を参照してください。）

バックアップと取得の機能を有効にする

WD SmartWare へようこそ画面で **[何を行いますか ?]** プロンプトで **[ドライブ設定のインストール]** を選択し、かつバックアップと取得の機能を有効にしたい場合は、以下の手順を実行します。

1. ドライブ管理のドライブの設定画面（28 ページの図 17 を参照）で、**[環境設定]** をクリックし、環境設定の設定ダイアログを表示します。



2. **[バックアップおよび取得機能を有効にします]** チェックボックスをオンにします。
3. **[バックアップを今すぐ有効にする]** をクリックし、以下の手順を実行します。
   - **[バックアップ]** タブと **[取得]** タブをホーム画面表示に追加する
   - **[ソフトウェアの設定]** オプションと **[ドライブの設定]** オプションを設定画面に追加する
   - ドライブの設定画面から **[環境設定]** オプションを削除する

WD SmartWare ソフトウェアのアンインストール

重要：ソフトウェアは簡単にアンインストールできます。ただし、アンインストールすると既存のバックアップ ジョブの設定がすべて削除されるため、ソフトウェアの再インストール後に、バックアップ ジョブを手動で再起動する必要があります。（17 ページの「コンピュータ ファイルのバックアップ」を参照してください。）

オペレーティング システムの [アプリケーションの追加と削除] を使ってコンピュータから WD SmartWare ソフトウェアをアンインストールします。

Windows XP でアンインストール

1. **[スタート]** > **[コントロール パネル]** の順にクリックします。
2. **[アプリケーションの追加と削除]** をダブルクリックします。
3. **WD SmartWare** を選択して、**[削除]** をクリックします。
4. **よろしいですか ...** プロンプトで、**[はい]** をクリックします。

Windows Vista または Windows 7 でアンインストール

1. **[スタート]** > **[コントロール パネル]** の順にクリックします。
2. **[プログラムと機能]** をダブルクリックします。
3. **WD SmartWare** または WD SmartWare アイコン をクリックして、画面上部の **[アンインストールと変更]** をクリックします。
4. **... を続行しますか**プロンプトで、**[はい]** をクリックします。

WD SmartWare ソフトウェアとディスク イメージの復元

My Book ドライブのデータをすべて削除するだけでなく、ドライブを消去、または再フォーマットすると、WD SmartWare ソフトウェア、サポート ファイル、ユーティリティ、オンライン ヘルプ、ユーザー マニュアル ファイルがすべて削除されます。

WD SmartWare ソフトウェアをコンピュータから削除して再インストールしたい場合、またはドライブを他のコンピュータに移動した場所にソフトウェアを再インストールしたい場合、My Book ドライブの WD SmartWare ソフトウェアとディスク イメージを復元する必要があります。これを実行するには、ドライブを消去して再フォーマットした後、*support.wdc.com* をご覧になり、ナレッジ ベースの Answer ID #5419 を参照してください。

7 ドライブの健康状態のチェック

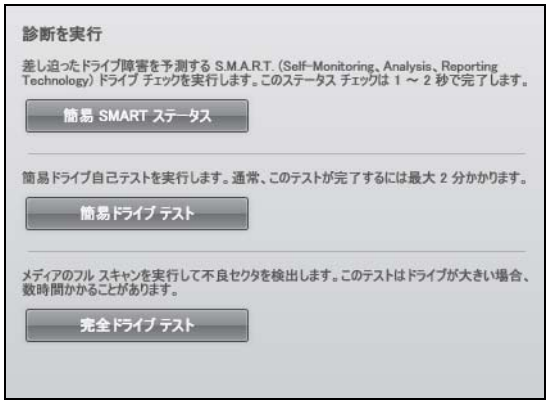
My Book ドライブ上のデータ ファイルは大切なものです。WD SmartWare ソフトウェアは、ドライブのパフォーマンスを確保するために、複数の内蔵診断ツールを備えています。ドライブが正しく動作しているか心配な場合は、以下のテストのいずれかを実行してください。

診断ツール	説明
簡易 S.M.A.R.T. ステータス チェック	S.M.A.R.T. は、ドライブの主要な内部性能属性を連続的に監視する故障予測機能です。例えば、ドライブ温度、ノイズ、読み書きエラーなどの増加が検出されると、ドライブが重大な不良状態に近づいている恐れがある目安になります。事前警告に基づいて、故障が発生する前にデータを別のドライブに移動するなどの予防措置をとることも可能です。 簡易 S.M.A.R.T. ステータス チェックの結果は、ドライブの状態の合否評価です。 S.M.A.R.T. ステータス チェックは、1、2 秒で完了します。
簡易 ドライブ テスト	My Book ドライブは、ドライブのエラー状態をテストする内蔵のデータ ライフガード診断ユーティリティを備えています。簡易ドライブ テストでは重大なパフォーマンス問題がないかをチェックします。 簡易ドライブ テストの結果は、ドライブの状態の合否評価です。 簡易ドライブ テストが完了するまでに数分間かかることがあります。
完全ドライブ テスト	最も総合的なドライブ診断は、完全ドライブ テストです。各セクターをすべて、エラー状態がないか徹底的にテストし、必要に応じて不良セクター マーカーを挿入します。 ドライブのサイズやそのドライブ上のデータ設定によって、完全ドライブ テストが完了するまで数時間かかる場合があります。

ドライブの問題が発生する前に、ドライブ診断とステータス チェックを定期的に行うことをお勧めします。また、非常に高速なため、簡易 S.M.A.R.T. ステータス チェックと簡易ドライブ テストは、ほとんど邪魔にならずに高レベルの保証を提供します。次に、ファイルのバックアップや取得時にディスク エラー状態が発生した場合は、必ず 3 つのテストをすべて実行してください。

ドライブの診断とステータス チェックを実行するには、以下の手順を実行します。

1. ドライブの設定画面（28 ページの図 17 を参照）で、**[診断情報]** をクリックし、診断を実行 ダイアログを表示します。



2. 実行するテスト用のボタンをクリックします。
   - **簡易 SMART ステータス**
   - **簡易ドライブ テスト**
   - **完全ドライブ テスト**

8 Mac でドライブを使用する

My Book ドライブは、すべての更新済み Windows オペレーティング システムとの互換性を確保するため、単一の NTFS パーティションとしてあらかじめフォーマットされています。Mac OS X Leopard または Snow Leopard オペレーティング システムでこのドライブを使用する場合、また必要に応じて Time Machine を使用する場合は、まず以下の操作を実行する必要があります。

- ドライブを単一の HFS+J パーティションに再フォーマットする
- WD SmartWare ソフトウェアとディスク イメージを復元する

この章では以下のトピックを取り上げます。

ドライブの再フォーマット
WD SmartWare ソフトウェアとディスク イメージの復元
ドライブの接続と使用開始
WD +TURBO によるパフォーマンスの強化
WD SmartWare ソフトウェアのインストール
WD SmartWare ホーム画面
WD SmartWare アイコンを使用する
WD SmartWare ソフトウェアを開く
ドライブ ステータスをチェックする
安全にドライブのマウントを解除する
ドライブのロック解除
WD SmartWare ソフトウェアのアンインストール

ドライブの再フォーマット

注意！ ドライブを再フォーマットすると、ドライブの内容はすべて消去されます。ドライブに既にファイルが保存されている場合は、再フォーマットする前に必ずバックアップしてください。

support.wdc.com をご覧になり、Windows ドライブの再フォーマットの詳細について、該当するナレッジ ベースの Answer ID を参照してください。

- Mac OS X の場合は 287 または 3323
- FAT32 の場合は 1364

ドライブの再フォーマットに関して、詳細は、58 ページの「トラブルシューティング」をご覧ください。

WD SmartWare ソフトウェアとディスク イメージの復元

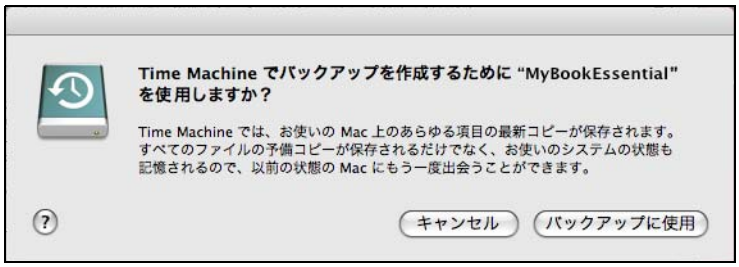
My Book ドライブを Mac コンピュータで使えるように再フォーマットしたら、*support.wdc.com* にアクセスし、ドライブにおける WD SmartWare ソフトウェアとディスク イメージのダウンロードと復元の詳細についてナレッジ ベースの Answer ID #5419 を参照してください。

ドライブの接続と使用開始

My Book ドライブを Mac コンピュータで使えるように再フォーマットし、WD SmartWare ソフトウェアとディスク イメージをダウンロード後、復元したら、以下の手順を実行します。

1. Mac コンピュータの電源を入れます。
2. 6 ページの図 4 に示すように、My Book ドライブをコンピュータに接続します。
3. My Book アイコンがデスクトップに表示されることを確認します。「MY BOOK」は、Mac コンピュータで使えるようにドライブを再フォーマットしたときにボリュームに割り当てた名前です。

4. 初めてコンピュータに My Book ドライブを接続する場合、ドライブを使って Time Machine でバックアップするかを確認するメッセージが表示されます。



WD SmartWare ソフトウェアは Apple の Time Machine ソフトウェアと完全に互換します。Time Machine を使用していても、WD SmartWare ソフトウェアでドライブを保護するパスワードを使って、ドライブを登録し、ドライブ診断を実行することができます。

a. Time Machine バックアップ ソフトウェアを*使わない*場合は、**[キャンセル]** をクリックします。

b. Time Machine バックアップ ソフトウェアを*使う*場合は、**[バックアップに使用]** をクリックします。My Book アイコンが次のように表示されます。

これで My Book ドライブを外付けストレージ デバイスとして使用する準備ができました。ドライブにある以下のソフトウェアをインストールすると、ドライブのパフォーマンスを強化することができます。

- WD +TURBO ユーティリティ（次のセクションの「WD +TURBO によるパフォーマンスの強化」を参照）
- WD SmartWare ソフトウェア（48 ページの「WD SmartWare ソフトウェアのインストール」を参照）

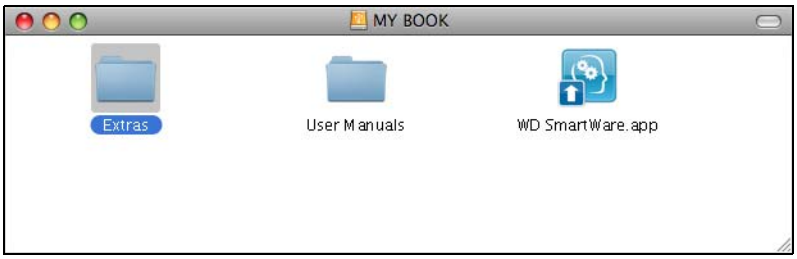
WD +TURBO によるパフォーマンスの強化

WD +TURBO は My Book ドライブで利用できるユーティリティで、インストールすると Mac コンピュータ上のドライブのパフォーマンスを向上させることができます。

WD SmartWare ソフトウェアをインストールする場合、WD +TURBO ユーティリティを手動でインストールする必要はありません。WD SmartWare ソフトウェアによってこのユーティリティは自動的にインストールされます。WD SmartWare ソフトウェアをインストールしない場合、My Book ドライブのパフォーマンスを強化するためには WD +TURBO をインストールします。

WD +TURBO をインストールするには、以下の手順を実行します。

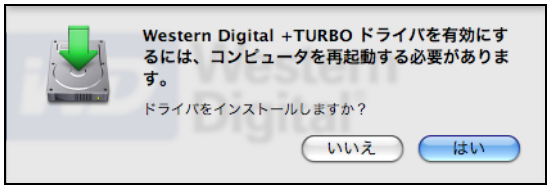
1. My Book アイコンをダブルクリックし、表示される画面上の Extras フォルダをダブルクリックします。



2. WD +TURBO インストーラのアイコンをダブルクリックします。

3. WD +TURBO ドライバ インストーラ画面で、**[インストール]** をクリックします。

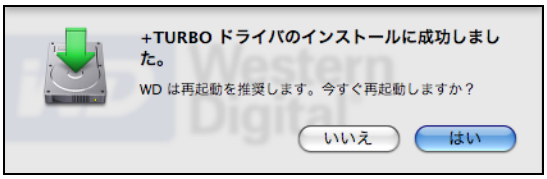
4. ライセンス契約を読み、**[同意]** をクリックして作業を続けます。
5. ドライバのインストールにはコンピュータを再起動してドライバを有効にする必要がある旨のメッセージが表示されます。



[はい] をクリックして作業を続けます。

6. **[パスワード]** ボックスに、このコンピュータにアクセスするために通常使用するパスワードを入力し、**[OK]** をクリックします。

7. インストールが完了したら、**[はい]** をクリックしてコンピュータを再起動します。



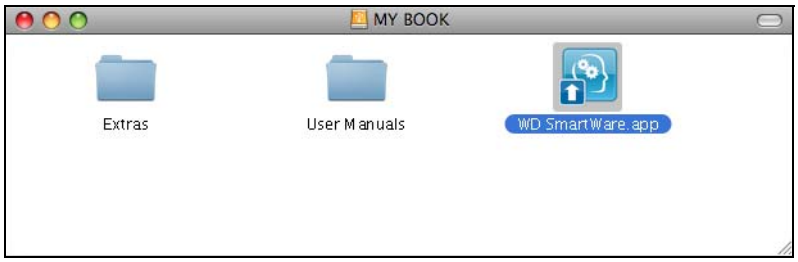
8. コンピュータが再起動すると、My Book アイコンが次のように表示されます。「MY BOOK」は、Mac コンピュータで使えるようにドライブを再フォーマットしたときにボリュームに割り当てた名前です。

これで My Book ドライブを、パフォーマンスが強化された外付けストレージ デバイスとして使用する準備ができました。

WD SmartWare ソフトウェアのインストール

WD SmartWare ソフトウェアをインストールするには、以下の手順を実行します。

1. My Book アイコンをダブルクリックし、表示される画面上の WD SmartWare アイコンをダブルクリックします。



2. WD SmartWare ソフトウェアのインストーラ画面が表示されます。

3. **[インストールを続行する]** をクリックすると、インストーラ ユーティリティにより WD SmartWare ソフトウェアがインストールされていないことを検出します。

4. **[WD SmartWare のインストール]** をクリックして、インストールを開始します。
5. ライセンス契約を読み、**[同意]** をクリックして作業を続けます。
6. **[パスワード]** ボックスに、このコンピュータにアクセスするために通常使用するパスワードを入力し、**[OK]** をクリックします。

7. インストールの完了を待ちます。これには数分かかります。

インストールが完了すると、WD SmartWare ホーム画面が表示されます（50 ページの図 18 を参照）。

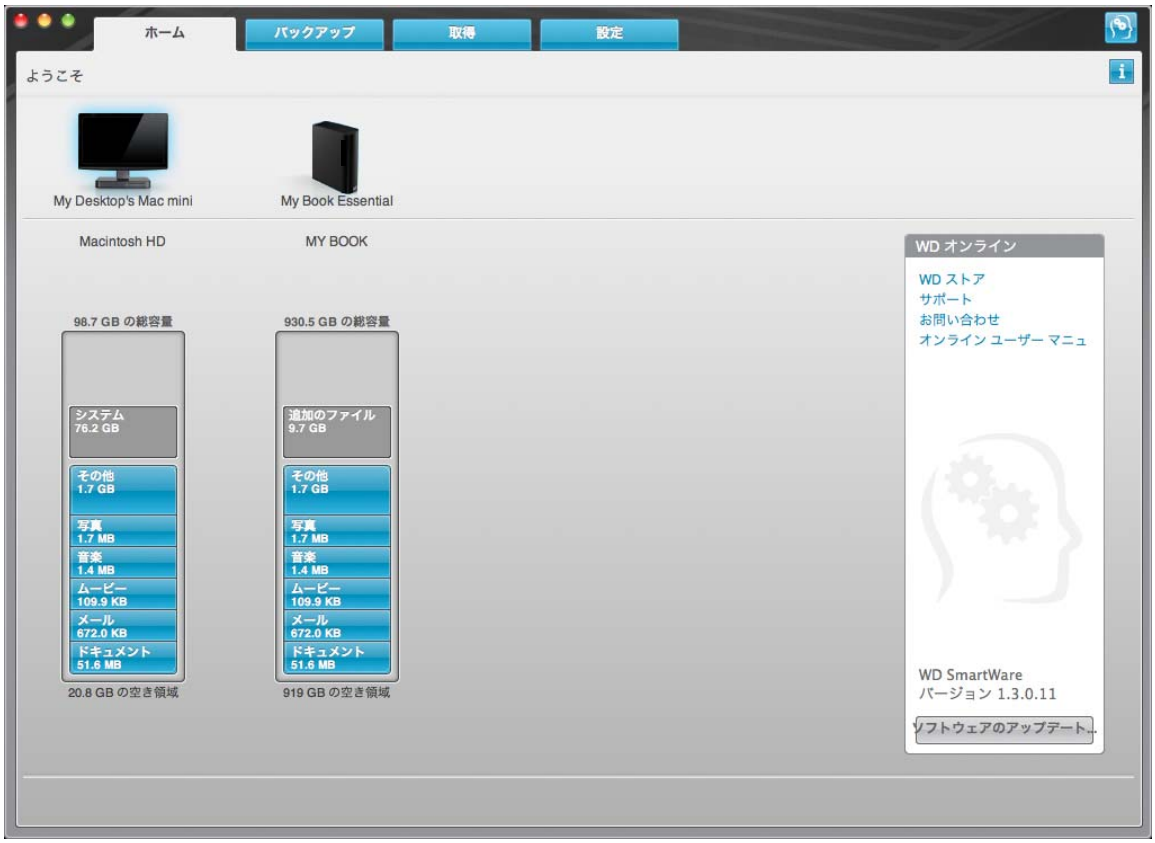


図 18. WD SmartWare ホーム画面

WD SmartWare ホーム画面

ホーム画面では、コンピュータ名の下にあるドロップダウン選択ボックスを使って、分類するプライマリ ドライブを変更することができます。別のドライブを選択すると、システムはそのドライブ上のファイルのカテゴリを確認します。**[バックアップ]** または **[取得]** タブをクリックして、コンピュータのメイン ハード ドライブ以外の場所に、ファイルをバックアップあるいは取得することができます。

コンピュータのハードドライブのコンテンツ ゲージには、バックアップの対象となるすべてのファイルが、コンピュータ上の以下のフォルダに基づきカテゴリ別に青色の背景で表示されます。

- **音楽**
- **ムービー**
- **写真**
- **メール**
- **ドキュメント**
- **その他**

その他カテゴリを除く各カテゴリには、表示されるフォルダ内のすべてのファイルが含まれます。その他カテゴリには、コンピュータ上のそれら以外のすべてのフォルダのファイルが含まれます。

メモ：

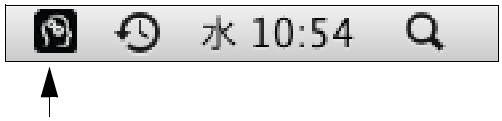
- 濃い灰色の背景で表示される**システム** カテゴリは、バックアップの対象にならないオペレーティング システム ファイルです。バックアップされないファイルとして、システム ファイル、プログラム ファイル、アプリケーション、および作業ファイルがあります。
- 濃い灰色が背景の **取得** カテゴリは、前のバックアップから取得されたファイルを示します。これらのファイルもバックアップの対象とはなりません。
- ポインタをカテゴリの上に移動すると、カテゴリ内のファイルの数が表示されます。

My Book ドライブのコンテンツ ゲージでは、**追加のファイル**カテゴリは、ドライブ プロパティの使用領域部分に表示されるすべてのファイルを含みます。この領域はバックアップの対象にはなりません。

注： WD SmartWare ソフトウェアを初めてインストールする場合（最初のバックアップを実行する前）、**追加のファイル**カテゴリには、ドライブをインストールする前にコンピュータのオペレーティング システムによって置かれていたシステム ファイルおよび隠しファイルを示す、少量のファイルが表示されます。

WD SmartWare アイコンを使用する

WD SmartWare ソフトウェアをインストールすると、WD SmartWare アイコンが画面右上隅のバーに表示されます。



このアイコンをクリックすると、以下の操作を実行することができます。

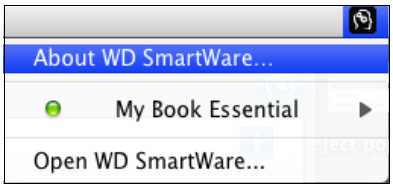
- WD SmartWare ソフトウェアを開く
- ドライブ ステータスをチェックする
- 安全にドライブのマウントを解除する

以降のセクションでは、アイコンの使用法およびこれらを行なう他の方法について説明します。

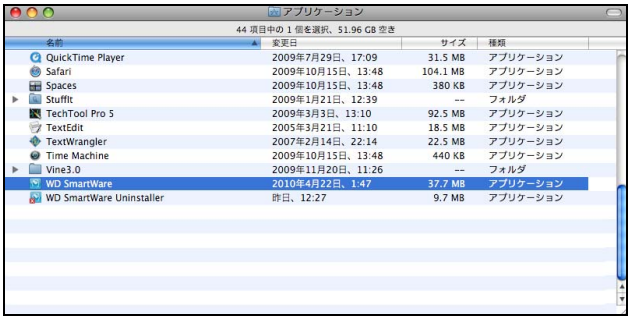
WD SmartWare ソフトウェアを開く

WD SmartWare ソフトウェアが自動的に開始しない場合、次のようにして再起動できます。

- WD SmartWare アイコンをクリックし、**[WD SmartWare を開く]** を選択します。



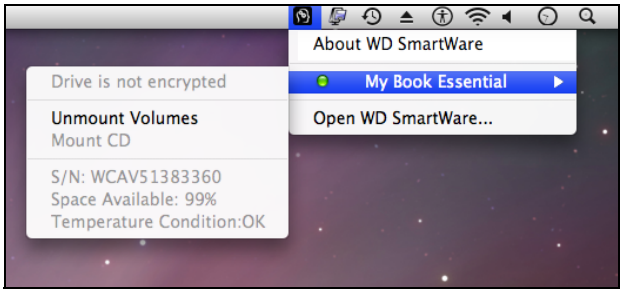
- アプリケーション リストにある WD SmartWare をダブルクリックします。



ドライブ ステータスをチェックする

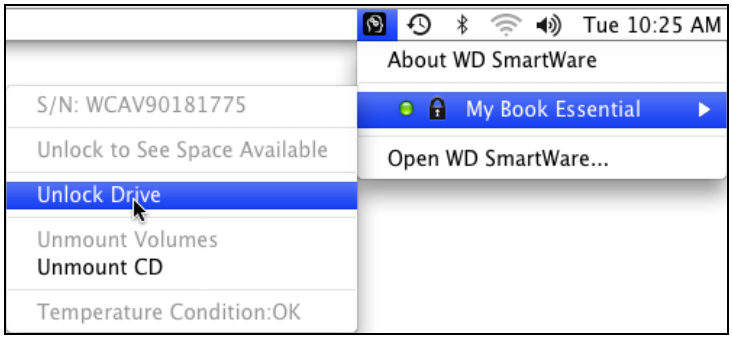
WD SmartWare アイコンを使って、ドライブのロック（暗号化）の状態、ドライブの使用領域、ドライブのシリアル番号、およびドライブの温度の状態を調べます。

1. WD SmartWare アイコンをクリックしてドライブのリストを表示し、My Book ドライブを選択します。

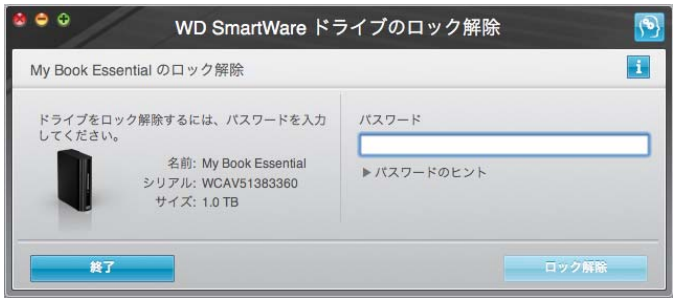


2. ドライブがロック解除されている（暗号化されていない）場合は、サブメニューに、ドライブのシリアル番号、ドライブの空き領域、および温度の状態が表示されます。

   ドライブがロックされている場合は、以下の手順を実行します。



   a. サブメニューの **[ドライブのロック解除]** をクリックし、WD SmartWare ドライブのロック解除画面を開きます。



b. **[パスワード]** ボックスにパスワードを入力します。

c. **[ドライブは現在ロックが解除されています]** というプロンプトが出たら、**[終了]** をクリックして WD SmartWare ドライブのロック解除画面を閉じます。

d. ステップ 1 を繰り返し、ドライブ ステータスを表示します。

安全にドライブのマウントを解除する

ドライブのマウントを解除するには以下の方法があります。

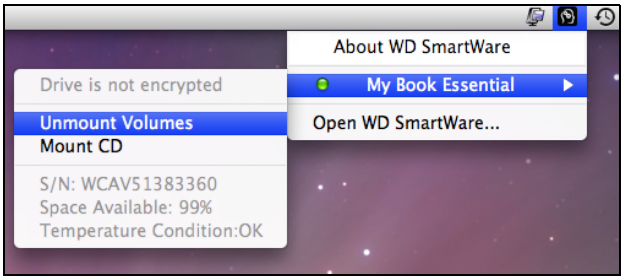
- WD SmartWare アイコンを使用する
- My Book アイコンを使用する
- ドライブ電源ボタンを使用する

注意！ データの損失を防ぐため、ドライブをシャットダウンあるいは取り外すときは、その前に実行中のウィンドウとアプリケーションをすべて閉じてください。

WD SmartWare アイコンを使用する

WD SmartWare アイコンを使用して安全にドライブのマウントを解除するには、以下の手順を実行します。

1. WD SmartWare アイコンをクリックしてドライブのリストを表示します。
2. My Book ドライブを選択し、次に、サブメニューで、**[ボリュームのマウントを解除]** を選択します。



ドライブに複数のボリュームがある場合は、ボリュームの選択を求めるプロンプトが表示されます。

ドライブの電源が落ちる音が確認できるはずです。

3. コンピュータからドライブを取り外す前に、ドライブ アイコンがデスクトップから消えるのを待ちます。

My Book アイコンを使用する

My Book アイコンを使用して安全にドライブのマウントを解除するには、以下の手順を実行します。

1. デスクトップ上の My Book アイコンを右クリックするか、または Ctrl キーを押しながらアイコンをクリックし、**[“MY BOOK” を取り出す]** をクリックします。「MY BOOK」は、Mac コンピュータで使えるようにドライブを再フォーマットしたときにボリュームに割り当てた名前です。

   ドライブの電源が落ちる音が確認できるはずです。

2. コンピュータからドライブを取り外す前に、ドライブ アイコンがデスクトップから消えるのを待ちます。

ドライブ電源ボタンを使用する

ドライブ電源ボタンを使用してドライブを安全にマウント解除するには、以下の手順を実行します。

1. My Book ドライブの背面にある電源ボタンを押します。

   ドライブの電源が落ちる音が確認できるはずです。

2. コンピュータからドライブを取り外す前に、ドライブ アイコンがデスクトップから消えるのを待ちます。

ドライブのロック解除

パスワードを作成して他の人がドライブ上のファイルにアクセスできないようにした後は、以下の操作を行う際、必ずドライブをロック解除するためにパスワードを入力する必要があります。

- コンピュータをシャットダウンして再起動する
- ドライブを外してコンピュータに再接続する
- コンピュータがスリープ モードを終了する

コンピュータに WD SmartWare ソフトウェアをインストールしていない場合でも、これを行う必要があります。

WD SmartWare ソフトウェアを使ってドライブのロックを解除する

WD SmartWare ソフトウェアでのドライブのロック解除の手順が自動になるか手動になるかは、**[パスワードを指定してください]** プロンプトが表示されるか否かに依存します。

自動の場合。コンピュータをシャットダウンおよび再起動する場合は、必ず、WD SmartWare ソフトウェアは WD SmartWare [My Passport のロック解除] プロンプトを表示します。

ドライブのロックを解除するには、以下の手順を実行します。

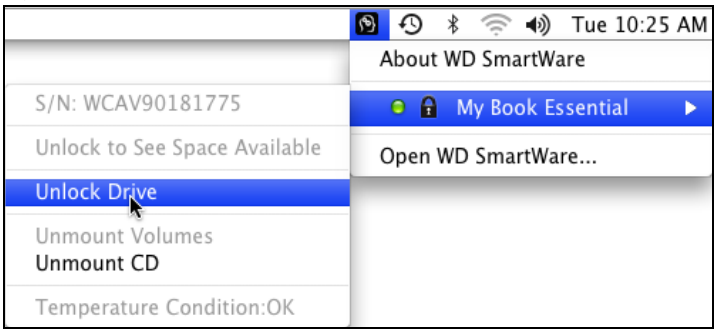
1. **[パスワード]** ボックスにパスワードを入力します。
2. **[ロック解除]** をクリックしてドライブのロックを解除し、WD SmartWare ソフトウェアを有効にします。

手動の場合。コンピュータがスリープ モードに入ると、コンピュータを再度アクティブ化したとき、ロック解除画面が表示されないことがあります。ドライブのロックを解除するには、以下のいずれかの手順を使用します。

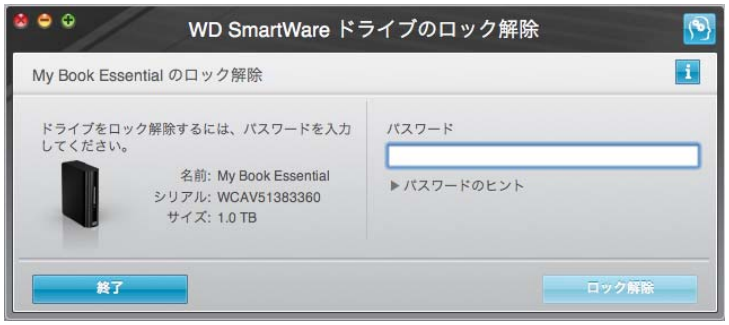
- 56 ページの「WD SmartWare ソフトウェアを使わずにドライブのロックを解除する」に示す WD ロック解除 VCD を使用する
- My Book アイコンを使用する

WD SmartWare アイコンを使用して手動でドライブのロックを解除するには、以下の手順を実行します。

1. 画面の右上隅にあるバーの WD SmartWare アイコンをクリックします。
2. My Book ドライブを選択し、**[ドライブのロック解除]** を選択します。



3. **[パスワード]** ボックスにパスワードを入力し、WD SmartWare ドライブのロック解除ユーティリティ画面の **[ロック解除]** をクリックします。



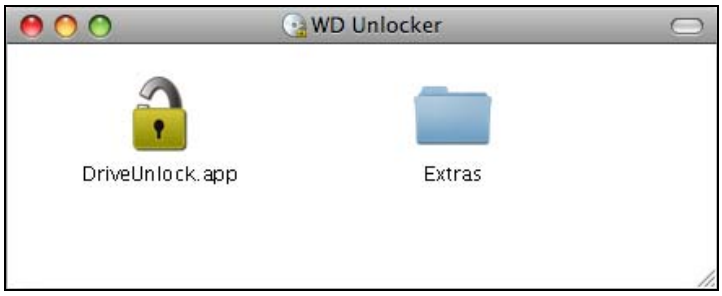
4. **[ドライブは現在ロックが解除されています]** というプロンプトが出たら、**[終了]** をクリックして WD SmartWare ドライブのロック解除ユーティリティ画面を閉じます。

WD SmartWare ソフトウェアを使わずにドライブのロックを解除する

パスワード保護されたドライブを WD SmartWare ソフトウェアがインストールされていないコンピュータに接続すると、WD SmartWare ドライブのロック解除ユーティリティを使用してドライブのロックを解除することができます。ドライブがロックされると、WD SmartWare ソフトウェアは、デスクトップに表示される「仮想」CD ドライブ (VCD) についてドライブのロック解除ユーティリティを提供します。

WD SmartWare ソフトウェアがインストールされていないドライブのロックを解除するには、以下の手順を実行します。

1. WD ロック解除 VCD アイコンをダブルクリックし、表示される画面上のドライブのロック解除アイコンをダブルクリックします。



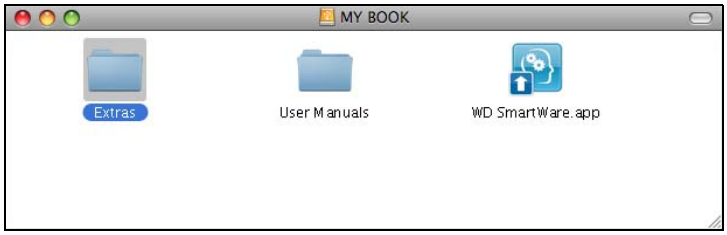
2. **[パスワード]** ボックスにパスワードを入力し、WD SmartWare ドライブのロック解除画面の **[ロック解除]** をクリックします。

WD SmartWare ソフトウェアのアンインストール

重要：WD SmartWare ソフトウェアは簡単にアンインストールできます。ただし、アンインストールすると既存のバックアップ ジョブの設定がすべて削除されるため、ソフトウェアの再インストール後に、バックアップ ジョブを手動で再起動する必要があります。（17 ページの「コンピュータ ファイルのバックアップ」を参照してください。）

WD SmartWare ソフトウェアをアンインストールするには、以下の手順を実行します。

1. デスクトップの My Book アイコン、またはアプリケーション リストの WD SmartWare をダブルクリックし、表示される画面の Extras フォルダをダブルクリックします。



2. WD SmartWare アンインストーラ アイコンをダブルクリックします。

3. WD SmartWare アンインストール画面の **[アンインストール]** をクリックします。

9 トラブルシューティング

この章では以下のトピックを取り上げます。

ドライブのインストール、パーティション作成、およびフォーマット
よくある質問 (FAQ)

この製品のインストールまたは使用中に問題が起きた場合は、このトラブルシューティング セクションを参照するか、サポート ウェブサイト *support.wdc.com* でナレッジベースを検索してください。

ドライブのインストール、パーティション作成、およびフォーマット

方法	Answer ID
■ Windows XP や Vista でドライブをインストール、パーティション作成、フォーマットする	207, 3322
■ ドライブを Mac OS X 10.4.11 および 10.5+ にインストール、パーティション作成、およびフォーマットする	287, 3323
■ Mac GPT から Windows XP NTFS に再フォーマットする	3645
■ ドライブを Mac GPT から Windows Vista NTFS フォーマットに再フォーマットする	3647
■ この製品に同梱されているオリジナル ソフトウェアを入手して再インストールする	1425
■ ドライブを FAT32 ファイル システムにフォーマットする *	1364
■ Mac と PC で同時にドライブを使う	291

**FAT32 ファイル システムには個々のファイル サイズが最大 4 GB という制限があり、Windows では 32 GB を超えるパーティションは作成できませんが、Windows のユーザーは、ディスク管理ユーティリティを使ってドライブを NTFS に再フォーマットすることでファイル サイズの制限を克服できます。詳細については、support.wdc.com の Answer ID 1287、および support.microsoft.com の Article ID 314463 と 184006 を参照してください。ドライブを再フォーマットして FAT32 で 32 GB を超えるパーティションを作成する場合は、External USB/FireWire FAT32 Formatting Utility を support.wdc.com/download からダウンロードしてください。*

よくある質問 (FAQ)

Q: *システムが USB 3.0、または USB 2.0 に対応しているかどうかは、どうやったらわかりますか？*

A: USB カードの説明書を参照するか、USB カードの製造元にお問い合わせください。

> *注：* USB 3.0、または USB 2.0 コントローラがシステムのマザーボードに内蔵されている場合は、そのマザーボード対応のチップセット サポートを必ずインストールしてください。詳細に関しては、マザーボードまたはシステムのマニュアルを参照してください。

Q: *USB 3.0、または USB 2.0 デバイスを USB 1.1 ポートまたはハブに差し込むとどうなりますか？*

A: USB 3.0 および USB 2.0 は USB 1.1 とと下位互換性があります。USB 1.1 ポートまたはハブに接続すると、USB 3.0、または USB 2.0 デバイスは USB 1.1 の最高速度 12 Mbps で動作します。

システムに PCI Express スロットがある場合は、PCI Express アダプタ カードを取り付けることで超高速 USB 転送レートを達成できます。取り付け手順および詳細は、カードの製造元にお問い合わせください。

Q: *データ転送レートが遅いのはなぜですか？*

A: USB 3.0、または USB 2.0 アダプタ カードのドライバが正しくインストールされていないか、またはシステムが USB 3.0、または USB 2.0 に対応していないためにシステムが USB 1.1 の速度で動作している可能性があります。

注： WD 製品に追加の外付けドライブが接続されている場合、USB の帯域幅が共有され、性能に影響を及ぼすことがあります。

Q: *ドライブに電源が入らないのはなぜですか？*

A: ドライブが電源に接続されていることを確認してください。バス電力の低いコンピュータでは、専用ケーブルが必要になることがあります。詳細については、米国内では、弊社のウェブサイト *store.westerndigital.com* をご覧ください。米国外では、地域の WD テクニカル サポートにお問い合わせください。

Q: *ドライブがマイ コンピュータやコンピュータのデスクトップに表示されないのはなぜですか？*

A: システムに USB 3.0、または USB 2.0 PCI アダプタ カードがある場合、WD USB 3.0 外付けストレージ製品を接続する前にドライバがインストールされていることを確認してください。USB 3.0、または USB 2.0 ルート ハブとホスト コントローラ ドライバがインストールされていないと、ドライブは正しく認識されません。インストール手順については、アダプタ カードの製造元にお問い合わせください。

Q: *コンピュータを起動する前に USB ドライブを接続したとき、PC が起動しないのはなぜですか？*

A: システムの構成によって異なりますが、コンピュータが WD ポータブル USB ドライブから起動しようとしている可能性があります。システムのマザーボード BIOS 設定のマニュアルを参照して、この機能を無効に設定してください。あるいは、*support.wdc.com* にアクセスして、ナレッジ ベースの Answer ID 1201 を参照してください。外付けハードドライブの起動については、システムのマニュアルを参照するか、システムの製造元に問い合わせてください。

A

SES ドライバのインストール

万が一、WD SmartWare ソフトウェアをインストールしないことに決めた場合、My Book ドライブをコンピュータに接続するたびにハードウェア ポップアップ ウィザードが表示されないようにするために、Windows を実行するコンピュータに SES ドライバをインストールする必要があります。

注： SES ドライバ が自動的にインストールされるのは、WD SmartWare ソフトウェアをインストールしたとき、または WD SmartWare へようこそ画面で **[インストールしない]** をクリックしたときです（15 ページの「WD SmartWare ソフトウェアなしで使用開始」を参照）。

この付録では以下のトピックを取り上げます。

Windows XP コンピュータにインストールする
Windows Vista コンピュータにインストールする
Windows 7 コンピュータにインストールする

Windows XP コンピュータにインストールする

6 ページの図 4 に示すように、ドライブを物理的に接続すると、新しいハードウェアの検出ウィザード画面が表示されます。

注： 自動再生が有効になっている場合、新しいハードウェアの検出画面と同時に 2 つの追加の画面が表示される場合があります。表示されたら、閉じてください。

新しいハードウェアの検出ウィザード画面を使用して、以下のいずれかの方法で SES ドライバをインストールできます。

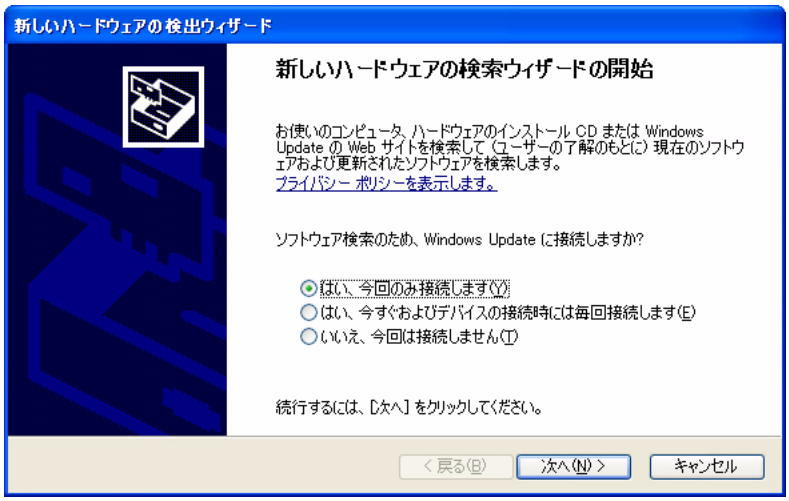
- コンピュータがインターネットに接続されている場合は自動的にインストール
- コンピュータがインターネットに接続されているかどうかに関係なく、手動でインストール

ドライバを自動的にインストール

SES ドライバを自動的にインストールするには、コンピュータをインターネットに接続する必要があります。

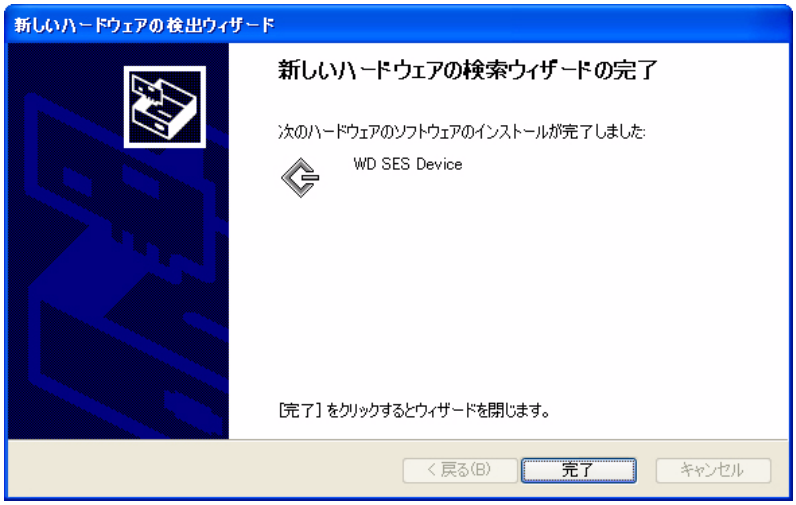
1. コンピュータがインターネットに接続されていることを確認します。

2. 新しいハードウェアの検出ウィザード画面で、**[はい、今回のみ接続します]** を選択して、Windows XP が Windows Update に接続できるようにします。



3. **[次へ]** をクリックして作業を続けます。
4. **[ソフトウェアを自動的にインストールする]** を選択して、**[次へ]** をクリックします。

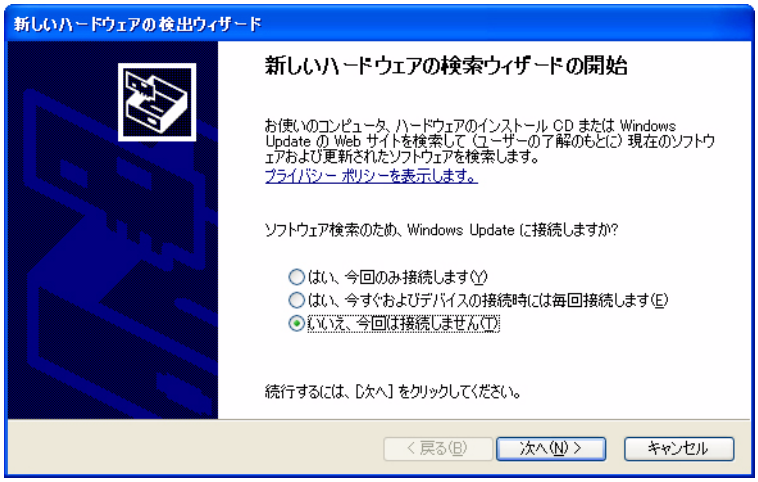
5. インストールが完了したら、**[完了]** をクリックします。



ドライバを手動でインストール

コンピュータがインターネットに接続していない場合は、ドライバを手動でインストールできます。

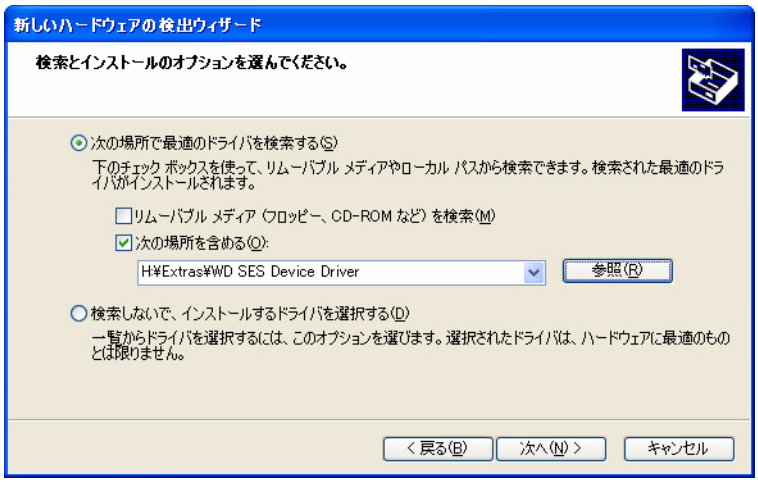
1. 新しいハードウェアの検出ウィザード画面で、**[いいえ、今回は接続しません]** を選択し、Windows Update への接続を行わないようにします。



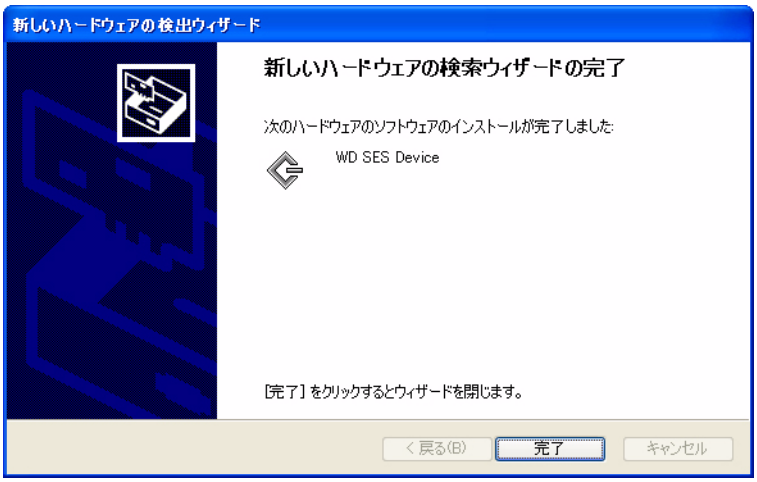
2. **[次へ]** をクリックして作業を続けます。
3. **[一覧または特定の場所からインストールする]** を選択し、**[次へ]** をクリックします。

4. **[マイ コンピュータ]** を参照します。そして、
   a. My Book ドライブをダブルクリックします。
   b. Extras フォルダをダブルクリックします。
   c. **WD SES デバイス ドライバ**を選択します。

d. **[次へ]** をクリックします。



5. インストールが完了したら、**[完了]** をクリックします。



Windows Vista コンピュータにインストールする

6 ページの図 4 に示すように、ドライブを物理的に接続すると、[新しいハードウェアの検出] 画面が表示されます。

> *注：* 自動再生が有効になっている場合、新しいハードウェアの検出画面と同時に 2 つの追加の画面が表示される場合があります。表示されたら、閉じてください。

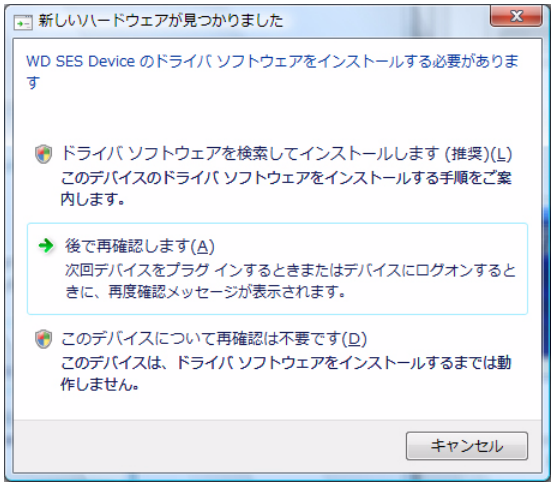
新しいハードウェアの検出画面を使用して、以下のいずれかの方法で SES ドライバをインストールできます。

- コンピュータがインターネットに接続されている場合は自動的にインストール
- コンピュータがインターネットに接続されているかどうかに関係なく、手動でインストール

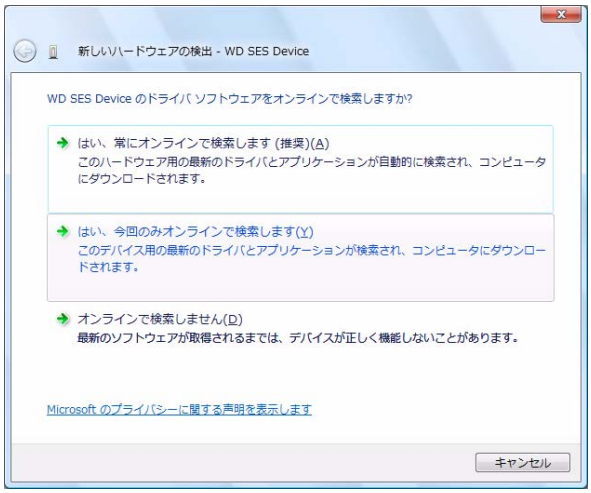
ドライバを自動的にインストール

SES ドライバを自動的にインストールするには、コンピュータをインターネットに接続する必要があります。

1. コンピュータがインターネットに接続されていることを確認します。
2. 新しいハードウェアの検出ウィザード画面で、**[ドライバ ソフトウェアを検索してインストールします]** をクリックします。



3. 新しいハードウェアの検出 – WD SES デバイス ウィザード画面で、**[はい、今回のみオンラインで検索します]** をクリックし、Windows Vista が Windows Update に接続できるようにします。



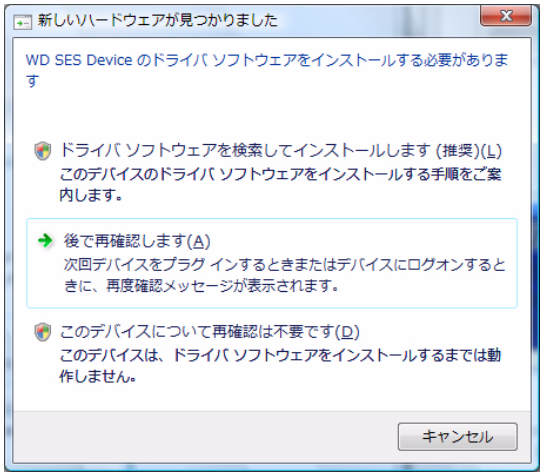
Windows Vista は自動的に以下を行います。

- Windows Update に接続する
- SES ドライバを検出、ダウンロード、インストールする

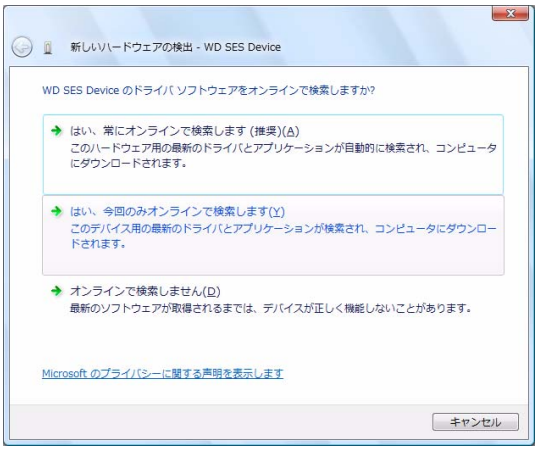
ドライバを手動でインストール

コンピュータがインターネットに接続していない場合は、ドライバを手動でインストールできます。

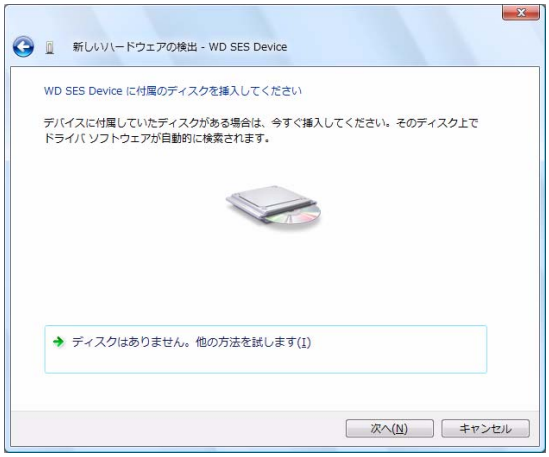
1. 新しいハードウェアの検出ウィザード画面で、**[ドライバ ソフトウェアを検索してインストールします]** をクリックします。



2. 新しいハードウェアの検出 – WD SES デバイス ウィザード画面で、**[オンラインで検索しません]** をクリックします。



3. **WD SES デバイスに付属のディスクを挿入してください**のプロンプトで、**[ディスクはありません。他の方法を試します]** オプションをクリックします。



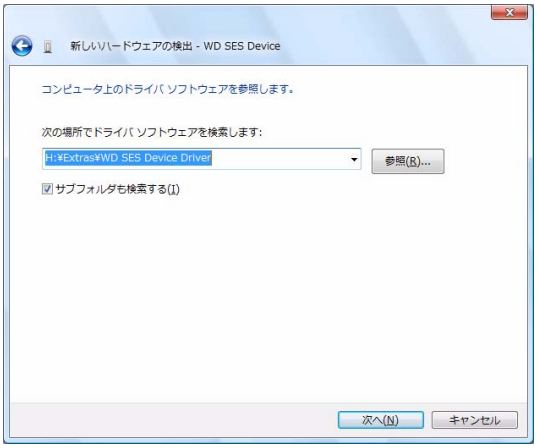
4. **コンピュータ** を参照し、以下の手順を実行します。

a. My Book ドライブをダブルクリックします。

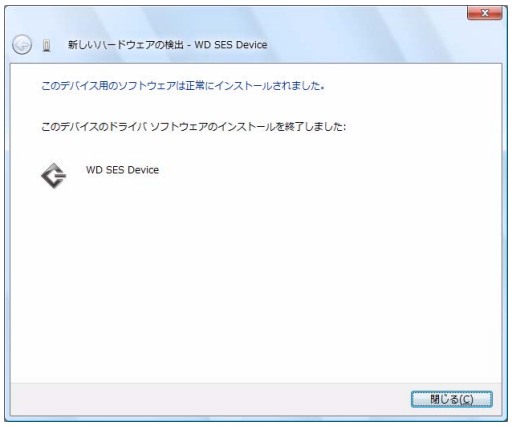
b. Extras フォルダをダブルクリックします。

c. **WD SES デバイス ドライバ**を選択します。

d. **[次へ]** をクリックします。



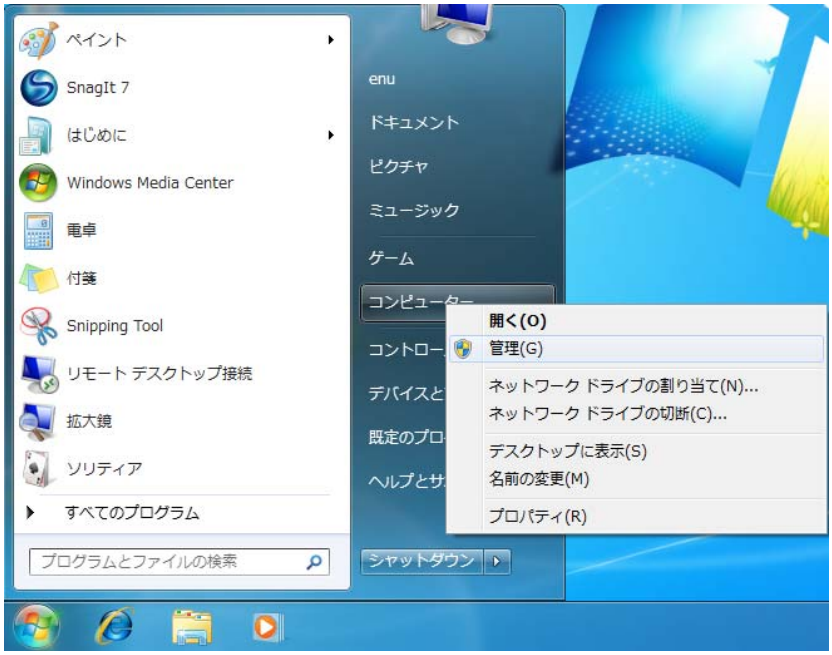
5. インストールが完了したら、**[閉じる]** をクリックします。



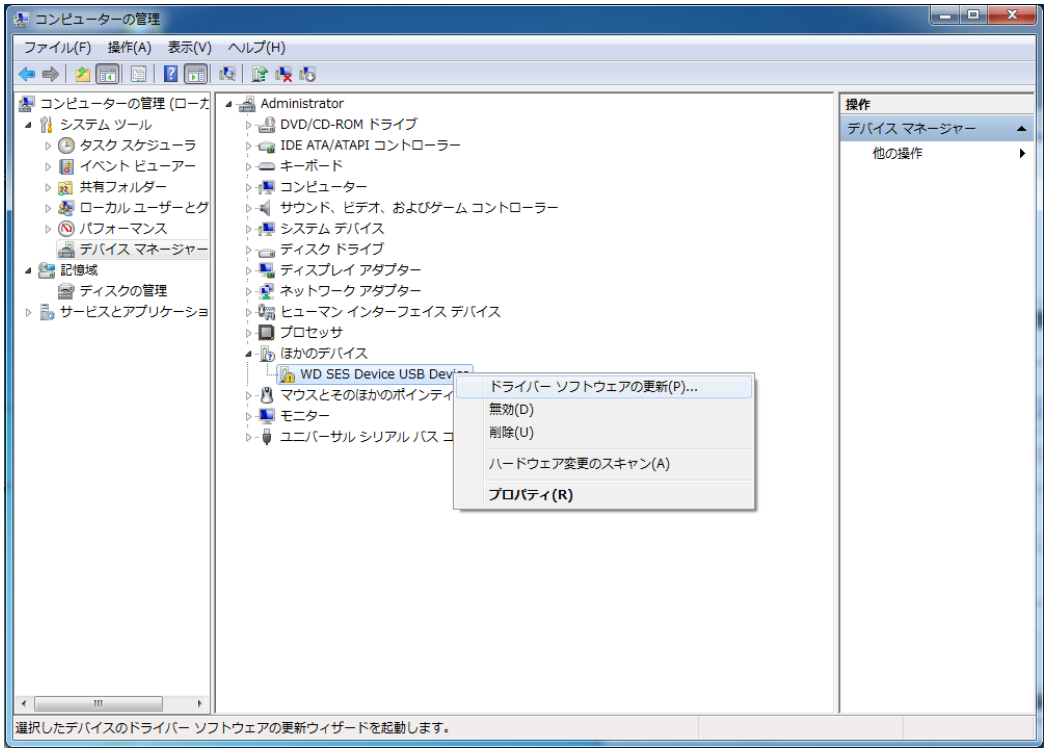
Windows 7 コンピュータにインストールする

6 ページの図 4 に示すように物理的にドライブに接続した後、Windows 7 Computer Management ユーティリティを使用して SES ドライバをインストールします。

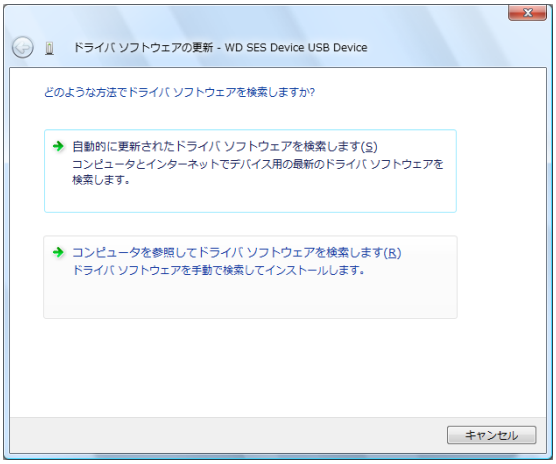
1. **[すべてのプログラム]** を開いて、**[コンピュータ]** > **[管理]** をクリックします。



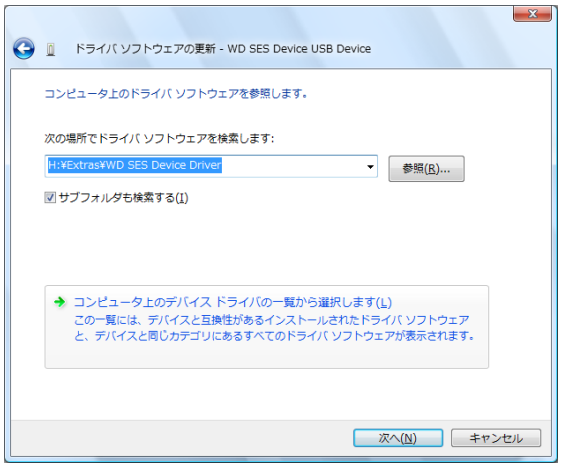
2. **[コンピュータの管理(ローカル)]** で、**[デバイス マネージャ]** > **[ほかのデバイス]** をクリックし、**[ドライバ ソフトウェアの更新]** を右クリックします。



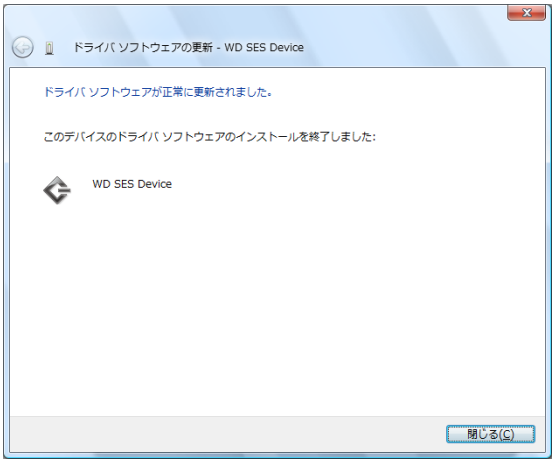
3. **[コンピュータを参照してドライバ ソフトウェアを検索します]** をクリックします。



4. **コンピュータ** を参照し、My Book ドライブをダブルクリックし、Extras フォルダをダブルクリックし、次に **WD SES デバイス ドライバ**を選択します。



5. **[次へ]** をクリックします。
6. インストールが完了したら、**[閉じる]** をクリックします。



B

順守および保証情報

この付録では以下のトピックを取り上げます。

規制順守
環境基準の順守（中国）
保証情報

規制順守

FCC クラス B 情報

この装置は、FCC 規定の第 15 項に準じ、クラス B デジタル デバイスの制限に関するテストが行なわれ、それに適合していることが確認されています。これらの制限事項は、住宅地域での設置の場合に有害な電波障害に対し妥当な予防策を与えるよう設計されています。このユニットはラジオ周波数エネルギーを発生、使用し、それを放射する可能性があり、そして指示通りに取り付けられ、使われない場合、ラジオまたはテレビの受信に対して、有害な干渉の原因となることがあります。しかしながら、特定の設置条件でこれらの障害が発生しないという保証はありません。WD が明示的に承認していない変更または修正を行うと、この機器を操作するユーザーの権限が無効になることがあります。

ICES/NMB-003 順守

Cet appareil de la classe B est conforme à la norme NMB-003 du Canada.

このデバイスは Canadian ICES-003 クラス B を順守しています。

安全準拠

アメリカおよびカナダで承認済み。CAN/CSA-C22.2 No. 60950-1, UL 60950-1：情報技術機器の安全性。

Approuvé pour les Etats-Unis et le Canada. CAN/CSA-C22.2 No. 60950-1 : Surete d'equipement de technologie de l'information.

この製品には、リストされている制限された電源、二重被覆、または「クラス 2」とマークされている直接プラグ差込み型電源ユニットを使用してください。

ヨーロッパに於ける CE の順守

CE マークが表示されている場合、このシステムが、EMC 指令 (2004/108/EC)、および低電圧指令 (2006/95/EC) など、適用 EU 理事会指令に準拠していることを示します。適用指令に基づく「Declaration of Conformity」は Western Digital Europe によって作成され、保管されています。

GS マーク（ドイツのみ）

機械の騒音 – 規制 3. GPSGV：別段の宣言のない限り、本製品からの音圧の最大レベルは、EN ISO 7779 により、70 db(A) 以下です。

Maschinenlärminformations-Verordnung 3. GPSGV: Der höchste Schalldruckpegel beträgt 70 db(A) oder weniger gemäß EN ISO 7779, falls nicht anders gekennzeichnet oder spezifiziert.

KCC 告知（韓国のみ）

기종별§	사용자 안내문§
B급 기기¶ (가정용 정보통신기기)§	이 기기는 가정용으로 전자파적합등록을 한 기기로서 주거지역에서는 물론 모든 지역에서 사용할 수 있습니다.§

Class B 機器 1 本機器は非商用目的で承認されており、住居地域を含むいかなる環境でも使用できます。

環境基準の順守（中国）

部件名称	有毒有害物质和元素					
	铅 (Pb)	镉 (Cd)	汞 (Hg)	六价铬 (Cr^{6+})	多溴联苯 (PBB)	多溴二苯醚 (PBDE)
包装页	O	O	O	O	O	O
包装外壳	O	O	O	O	O	O
光导管	O	O	O	O	O	O
电源按钮	O	O	O	O	O	O
HDD 托架	O	O	O	O	O	O
EMI 外壳	O	O	O	O	O	O
个性化板材	O	O	O	O	O	O
Kensington 锁按键	O	O	O	O	O	O
螺丝 6-32x6.35mm	O	O	O	O	O	O
螺丝 M3x5mm+5W	O	O	O	O	O	O
垂直支脚	O	O	O	O	O	O
减震架	O	O	O	O	O	O
印制板装配 (PCA)*	O	O	O	O	O	O
硬盘	X	O	O	O	O	O
电缆组件	O	O	O	O	O	O
电源适配器	O	O	O	O	O	O
电源线	O	O	O	O	O	O

* 印制板装配包括所有印刷电路板 (PCB) 及其相应的各个组件、IC 及连接器。

O：表示此部件所用的所有均质材料中包含的此有毒或有害物低于 MCV 标准中的限制要求。

X：表示此部件所用的均质材料中至少有一种材料包含的此有毒或有害物高于 MCV 标准中的限制要求。

在出现一个 “X” 的所有情况下，WD 采用容许的排除。

保証情報

サービスを受けるには

WD は貴社のビジネスを価値あるものと認識し、最善のサービスを提供するよう、常に努力しています。この製品に保守が必要な場合は、製品を最初に購入なさった代理店に連絡するか、または弊社のサポート Web サイトである *support.wdc.com* をご覧になり、サービスを受ける方法または返品許可 (RMA) について詳細をお調べください。製品に欠陥があると確認された場合、RMA 番号が出され、製品を返品する手順が通知されます。許可されていない返却（つまり RMA 番号が発行されていないもの）は、お客様負担でそちらに返送されます。許可された返却は、承認された発送用コンテナに入れられ、前払いで保険を掛け、返却書類に示されている住所に宛ててください。元の箱および梱包素材は WD 製品を保存あるいは発送するために保管しておいてください。保証期間を確定するために、*support.wdc.com* で保証の有効期限を調べてください（シリアル番号が必要です）。WD は原因に関わらず、失われたデータ、失われたデータの回復、あるいは製品に含まれていたデータに関して、一切責任がありません。

限定保証

WD は、この製品が通常の使用において、下記の条項で規定されている条件下で素材および出来上がりに欠陥がなく、WD の仕様を満たしていることを保証します。限定保証期間は、その製品を購入された国によって異なります。限定保証の期間は、法律で義務付けられている場合を除き、北米と中南米では 2 年間、ヨーロッパ、中東、アフリカでは 2 年間、アジア太平洋地域では 3 年間となっています。限定保証期間は、購入時の領収書に記されている購入日から始まります。製品が WD から盗取されたものであると断定された場合、または次の場合、WD は責任を負いません。当該故障が a) 存在しない場合、b) WD が製品を受け取る前に生じた損傷のために適切に修正できない場合、または c) 不正な使用、不適切な設置、改変（ラベルの取り外しまたは消去および外部エンクロージャの開封または取り外しを含む。ただし、制限されたユーザー サービス可能製品リストに製品がある場合、および特定の改変が *support.wdc.com* にある該当手順の範囲内にある場合は除く）が行われたか、または WD 以外の者による事故または不注意な取り扱いの場合。上記の制限に従って、お客様が受ける排他的な唯一の保証は、上記指定保証期間における、WD の意志による製品の修理または交換になります。

前記の有限保証は WD の単独保証で、新品として売られた製品にのみ該当します。ここで提供される救済は、明示、黙示または法定かを問わず、a) 市販性、特定の目的との適合性に関する黙示の保証を含む（ただし必ずしもこれらに限らない）他のすべての救済と保証に取って代わるものであり、b) この製品の購入、使用、性能との関連から生じた、偶発的、派生的、または特別な損害、財務的な損失、利益の喪失、データの喪失（ただし必ずしもこれらに限らない）に対して一切責任を負いません。これは、WD が、あらかじめそのような損害が生じる可能性を知らされていた場合でも同様です。アメリカのいくつかの州では付随的または結果として生じる損害の制限を許容せず、そのために上記の制限がお客様に適用されない場合があります。この保証はお客様に特定の法的権利を与えますが、お客様には州ごとに異なるその他の権利があるかもしれません。

索引

F

FAQ
USB 58
FCC クラス B 情報 69

I

ICES/NMB-003 順守 69

K

Kensington セキュリティ スロット 5

M

Mac
VCD のマウントを解除する 57
WD SmartWare の再起動 51
安全にドライブのマウントを解除する 53
手動によるドライブのロック解除 57
ステータス チェック 57
ソフトウェアのアンインストール 57
ドライブ シリアル番号 57
ドライブを～に再フォーマットする 45

N

NTFS フォーマット 3, 45

R

RoHS 70

S

SMART ステータス チェック 43

U

UL 69
Underwriters Laboratories Inc. 69
USB ドライブ インターフェイス 5

W

WD SmartWare アイコン
Windows 33
WD SmartWare ソフトウェア
Mac からアンインストールする 57
WD SmartWare ソフトウェアの起動
Mac で 51
Windows で 33
WD SmartWare のアンインストール
Mac から 57
Windows から 42
WD サービス 70
Windows
WD SmartWare ソフトウェアのアンインストール 42
仮想 CD からドライブのロックを解除する 31
ステータス チェック 33

あ

アイコンの点滅アラート 34
空き領域
Mac で 57
Windows で 33
アクセサリ、オプション 3
アラート、アイコンの点滅 34
安全準拠 69

お

オペレーティング システム 3
オペレーティング システムとの互換性 3
オペレーティング システムの要件 3
音楽ファイル カテゴリ、定義 14, 18
温度のチェック 33

か

各部の名称と説明 3
仮想 CD
ドライブのロック解除 56
仮想 CD からドライブのロックを解除する
Mac で 34
Windows で 34
簡易診断自己テスト 43
環境基準の順守、中国 70
環境設定オプション、設定 36
環境設定、ソフトウェア設定 35

き

規制順守 69
キットの内容 2

け

限定保証 71

さ

サービス 70

し

システム
ソフトウェア設定の調整 35
ファイルのカテゴリ定義 51
ファイルのカテゴリ、定義済み 14, 19
システムの互換性 3
写真 ファイル カテゴリ、定義 14, 18

取得
手順 24, 27
ファイルの取得について 24
フォルダ、指定 35
フォルダ、ソフトウェア設定 35
順守、規制 69
正面図と背面図 3
シリアル番号
Mac で 57
診断を実行画面 44

す

ステータス チェック 33
Mac で 57
Windows で 33

せ

製品登録 5
製品の特徴 1
設定
環境設定画面 36
取得フォルダ画面 35
スリープ タイマー画面 38
ドライブの設定を*参照*

そ

その他のファイル カテゴリ、定義 14, 18
ソフトウェア設定
環境設定 35, 36
システムの調整 35
取得フォルダ 35
ソフトウェア ディスク イメージを復元する 42, 45
ソフトウェアの再起動
Windows で 33

ち

注意
ドライブの消去について 39
取り外す際のデータの損失について 34, 53
パスワードの紛失について 28
ロック解除されたドライブについて 29
中国 RoHS 70

て

ディスク イメージ、ダウンロードする、復元する 42, 45
電源ボタン 5, 54

と

登録、オンライン 5
ドキュメント ファイル カテゴリ 14
ドライブ
Mac から VCD のマウントを解除する 57
Mac からマウントを解除する 53
PC から取り外す 34
診断とステータス チェック 43
スリープ タイマー 38
接続 6
取り扱い上の注意 5
ドライブの再フォーマット 45
ドライブの消去 39
ドライブの消去に関する注意 39
ドライブの消去画面 39, 41
ドライブのスリープ タイマーの設定 38
ドライブの接続 6
ドライブの設定
スリープ タイマー 38
セキュリティ 28
登録 38
ドライブ消去 39
ファイルの履歴 35
ドライブの登録 38
ドライブの登録画面 38
ドライブの取り扱い上の注意 5
ドライブの取り外し 34
ドライブのパスワード保護 28
パスワードの紛失についての注意 28
ドライブのフォーマット 58
ドライブのロック解除
WD SmartWare ソフトウェアを使って 55
WD SmartWare ソフトウェアを使わずに 56
ドライブ フォーマットの変換 45, 58
取り扱い上の注意 5

は

ハードウェア 2
箱の内容 2
パスワードの作成 28
バックアップ
手順 19, 20
ファイル コンテンツ ボックス 20
ファイルのバックアップについて 17

ふ

ファイル
    カテゴリ、定義 14, 18
    履歴、画面 22
    履歴、ドライブの設定 35
フル メディア スキャン 43

ほ

保証 70

む

ムービー ファイル カテゴリ、定義 14, 18

め

メール ファイル カテゴリ、定義 14, 18

よ

要件、オペレーティング システム 3

WD によって提供された情報は正確で信頼できるものと考えられますが、その使用、あるいはその使用に起因した特許または第三者のその他の権利の侵害に関して WD は一切責任を負いません。WD の特許または特許権のもとで、黙示的またはその他の方法でライセンスが許可されることはありません。WD は通知することなく仕様をいつでも変更する権利を保持します。

Western Digital、WD、WD のロゴ、My Book および My Passport は Western Digital Technologies, Inc. の登録商標であり、My Passport Essential、WD SmartWare および Data Lifeguard は Western Digital Technologies, Inc. の商標です。本書で言及した他のマークはその他の会社に属します。

© 2010 Western Digital Technologies, Inc. All rights reserved.

Western Digital
20511 Lake Forest Drive
Lake Forest, California 92630 U.S.A.

4779-705019-R03 2010 年 8 月